

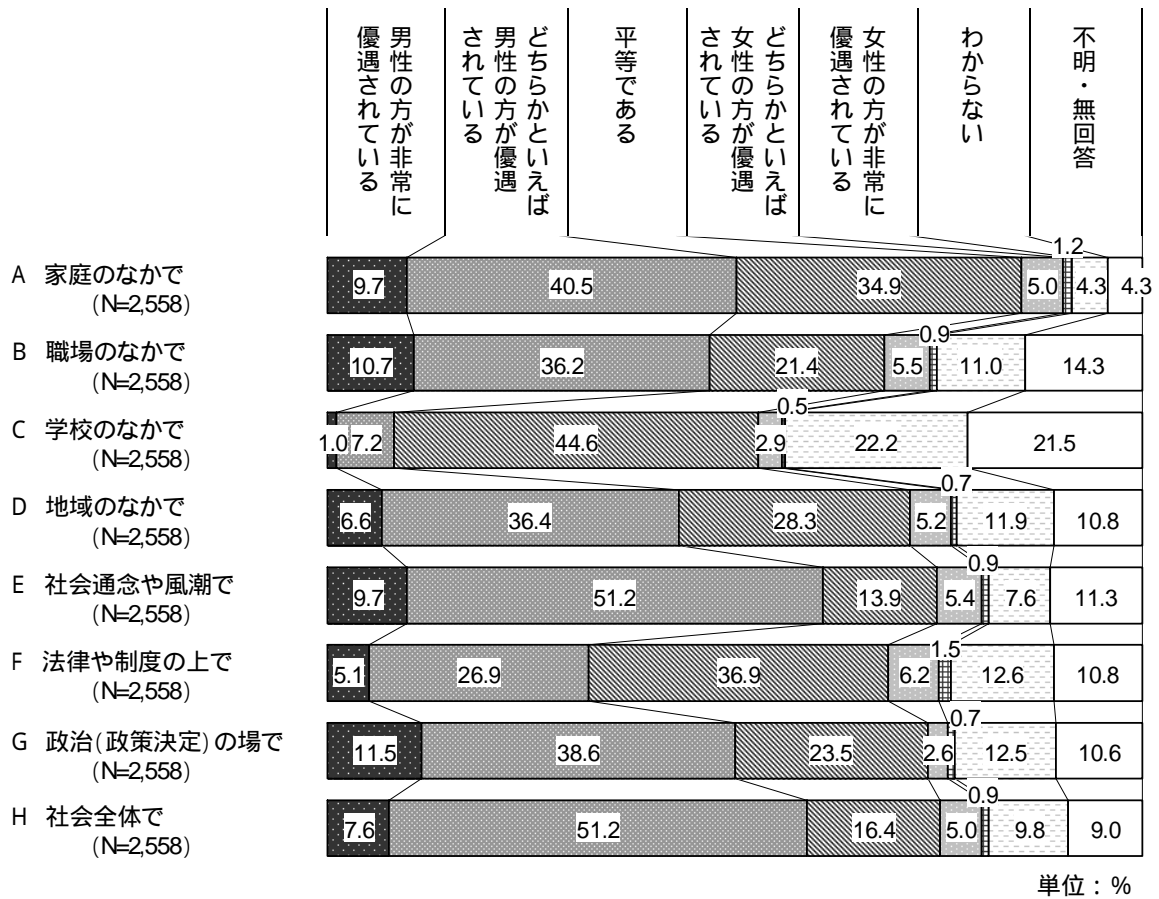
# 調査結果

## 1 男女平等について

### (1) 男女の地位評価

問1. あなたは、次にあげるA～Hの分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。A～Hのそれぞれについて1つずつ選んで 印をつけてください。

問1 男女の地位評価 A～Hの分野別比較 【全体】



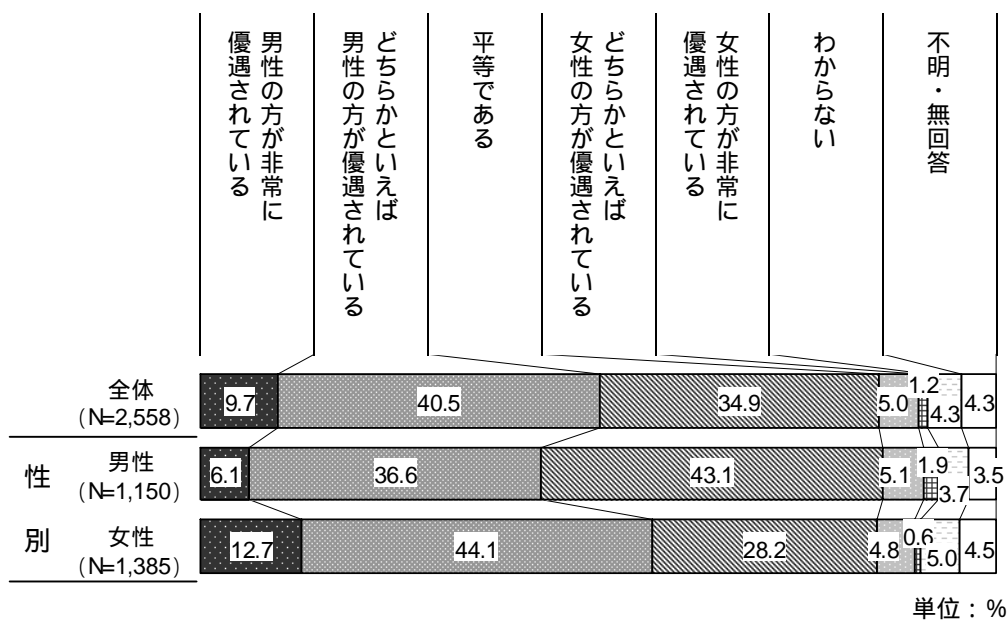
分野別の男女の地位評価を比較すると、「C 学校のなかで」を除く分野は、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合が高い結果となっています。

特に「E 社会通念や風潮で」、「H 社会全体で」については、6割前後の人が『男性の方が優遇されている』と答えています。また、「A 家庭のなかで」、「G 政治(政策決定)の場で」についても、5割以上の人が『男性の方が優遇されている』と答えています。

「C 学校のなかで」については、「平等である」(44.6%)と答えた人の割合が最も高く、『男性の方が優遇されている』(8.2%)と答えた人の割合は、他の分野と比べて低くなっています。

『男性の方が優遇されている』は、本来の選択肢の「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合を合計したものです。『女性の方が優遇されている』は、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合を合計したものです。以降のページも同様。

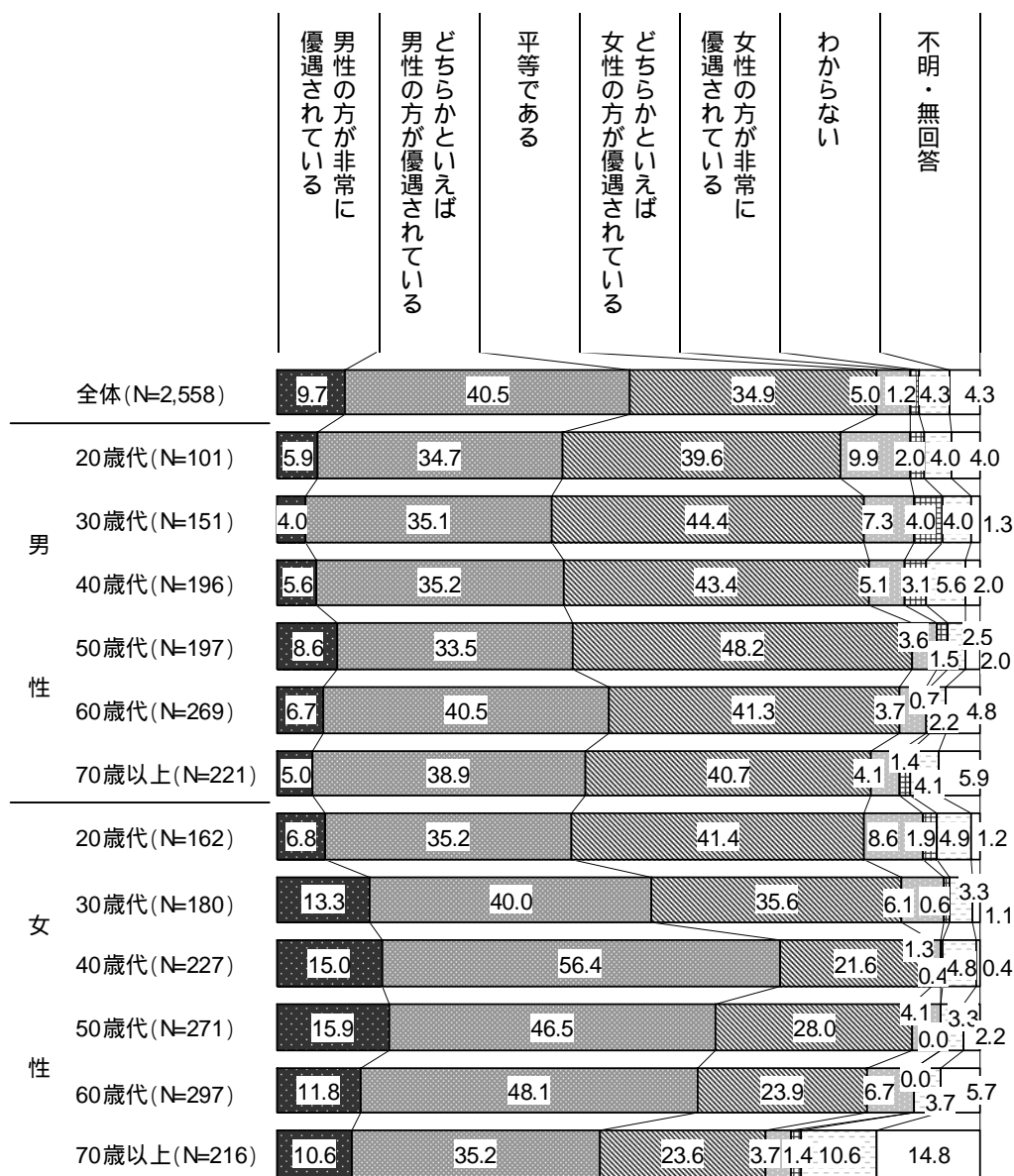
問1 男女の地位評価 A 家庭のなかで 【全体/性別】



全体では、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は 50.2%で5割程度となっています。「平等である」と答えた人の割合は 34.9%となっています。

性別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性（56.8%）が男性（42.7%）を 14.1ポイント上回っています。

問1 男女の地位評価 A 家庭のなかで 【性別・年代別】

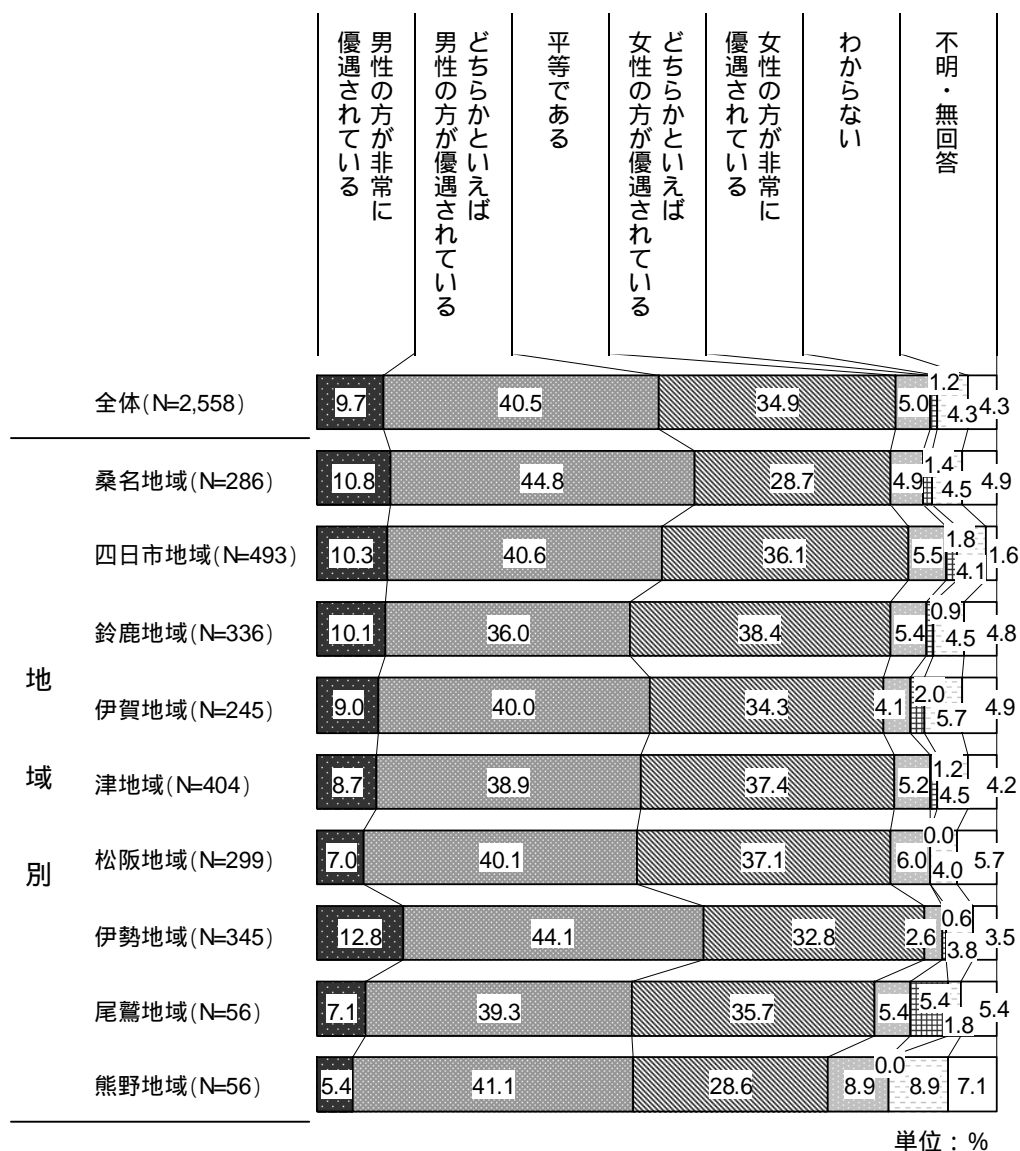


単位：％

性別・年代別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の40歳代(71.4%)が7割以上と高く、次いで女性の50歳代(62.4%)、60歳代(59.9%)、30歳代(53.3%)の順となっています。

「平等である」と答えた人の割合は、男性の50歳代(48.2%)が最も高く、女性の40歳代(21.6%)が最も低い結果となっています。

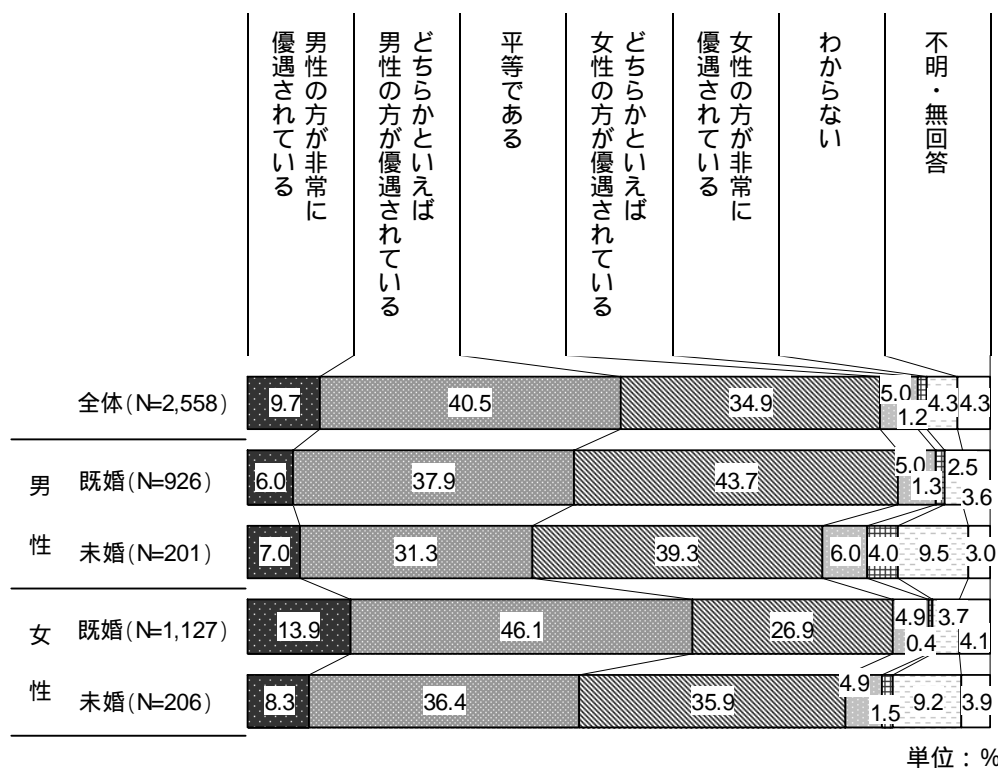
問1 男女の地位評価 A 家庭のなかで 【地域別】



地域別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、伊勢地域（56.9%）が最も高く、次いで桑名地域（55.6%）の順となっています。

「平等である」と答えた人の割合は、鈴鹿地域（38.4%）が最も高い結果となっています。

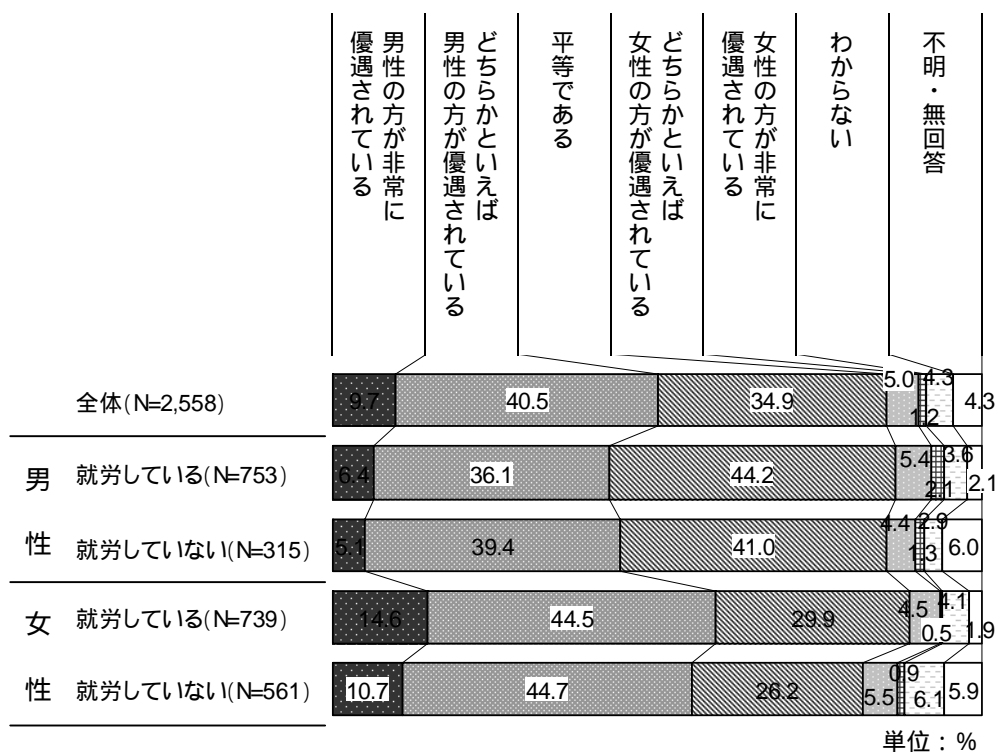
問1 男女の地位評価 A 家庭のなかで 【性別・婚姻状況別】



性別・婚姻状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の既婚者（60.0%）が最も高い結果となっています。

「平等である」と答えた人の割合は、男性の既婚者（43.7%）が最も高くなっています。

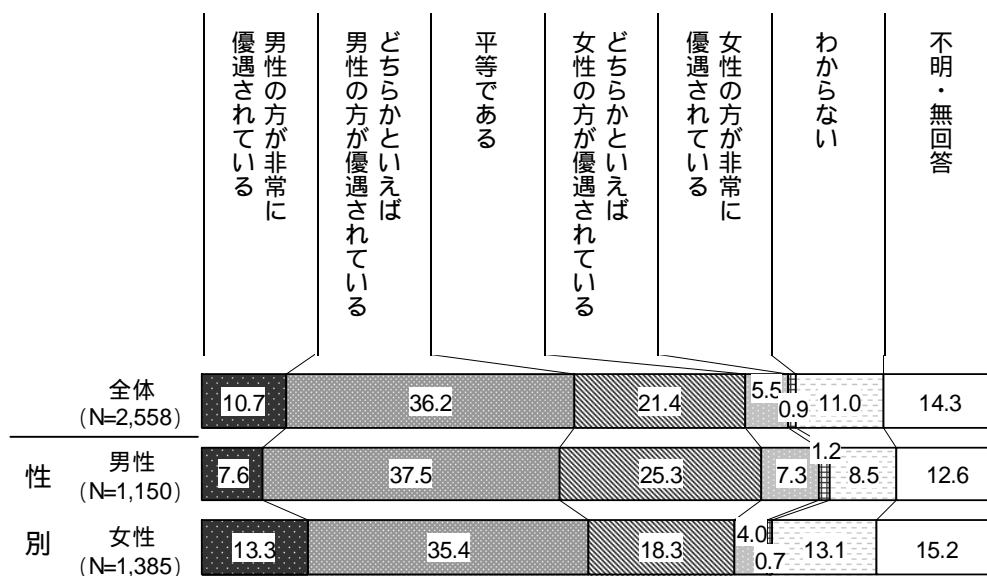
問1 男女の地位評価 A 家庭のなかで 【性別・就労状況別】



性別・就労状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の就労している（59.1%）が最も高い結果となっています。

「平等である」と答えた人の割合は、男性の就労している（44.2%）が最も高くなっています。

問1 男女の地位評価 B 職場のなかで 【全体/性別】



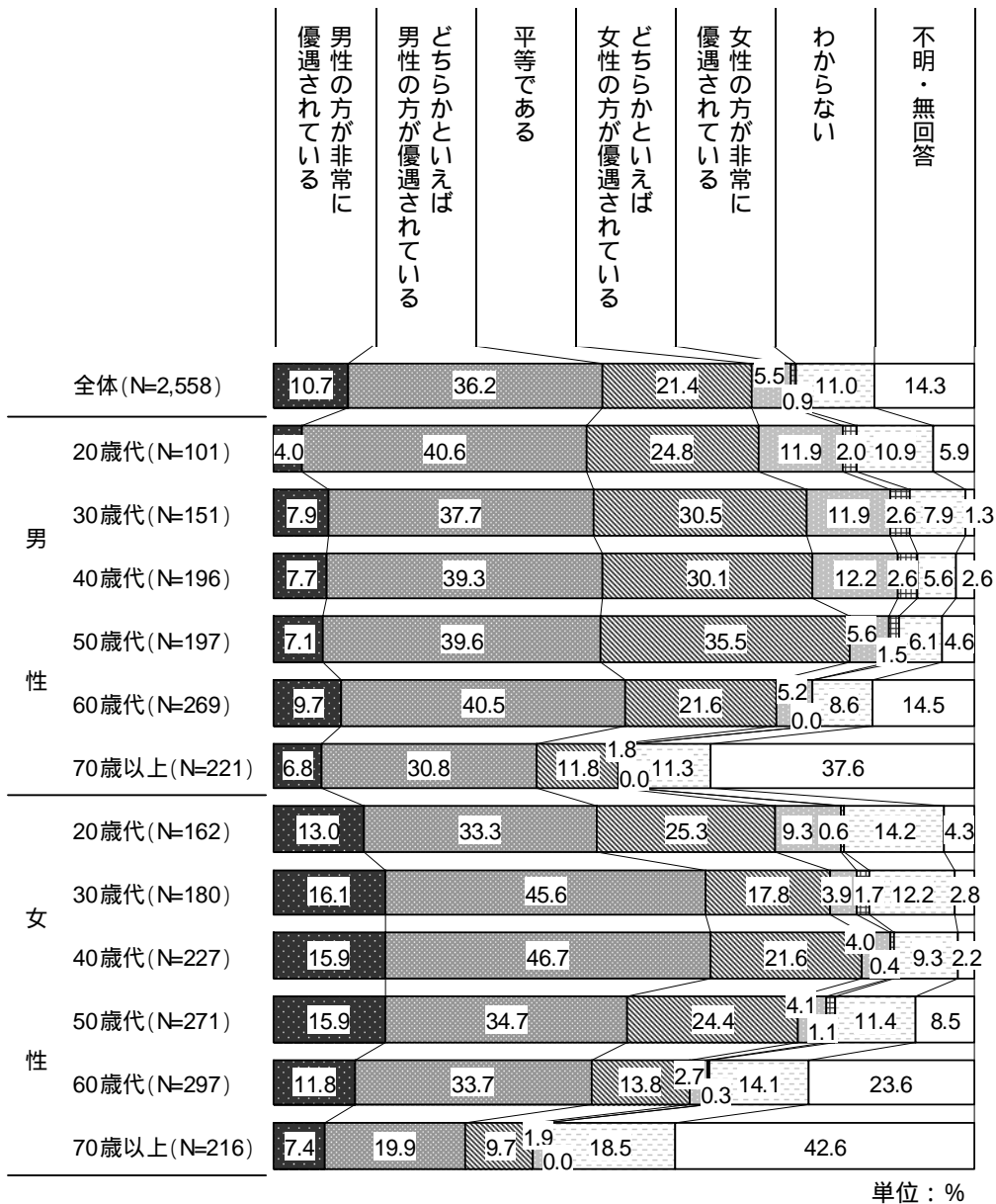
単位：%

全体では、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は46.9%となっています。「平等である」と答えた人の割合は21.4%となっています。

性別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性（48.7%）が男性（45.1%）を3.6ポイント上回っています。

「平等である」と答えた人の割合は、男性（25.3%）が女性（18.3%）を上回っています。

問1 男女の地位評価 B 職場のなかで 【性別・年代別】

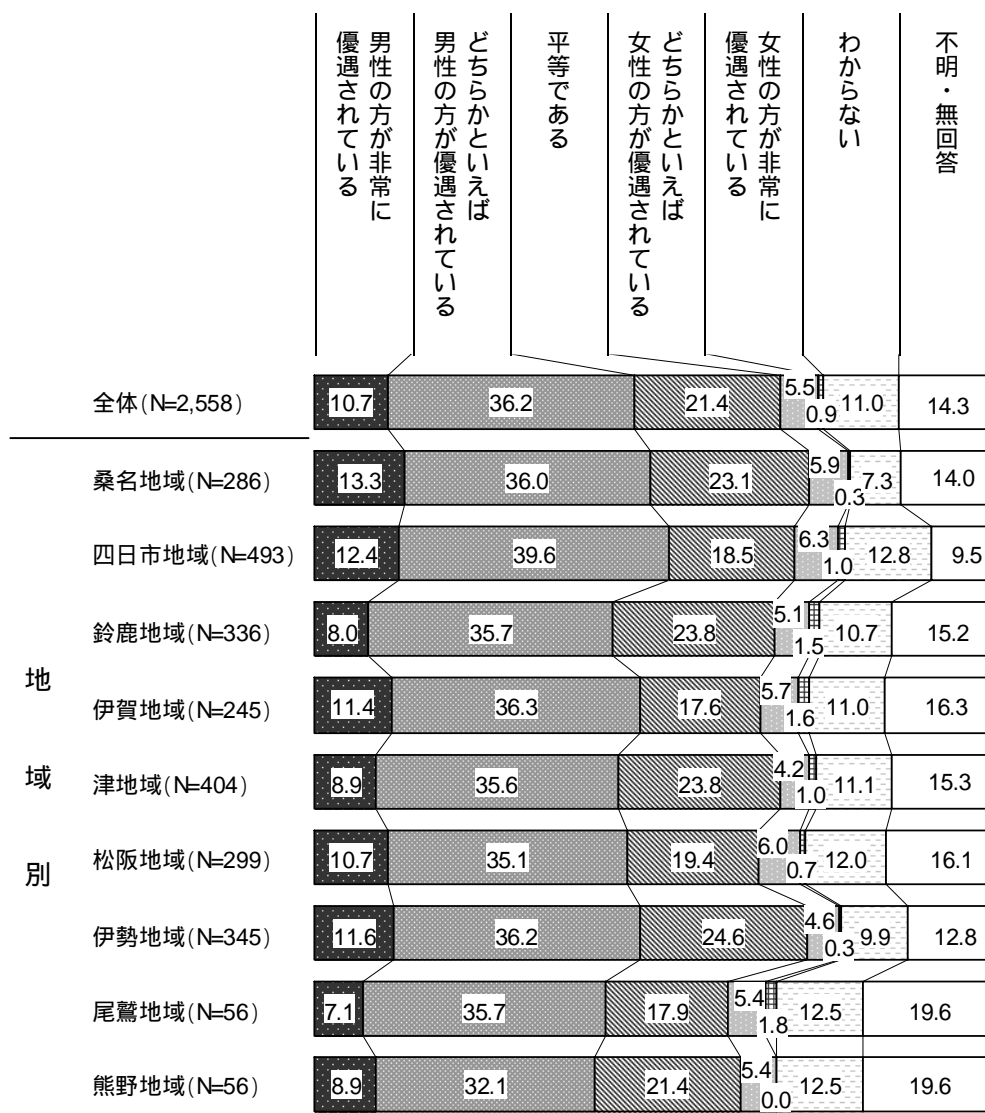


性別・年代別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の40歳代（62.6%）が最も高く、次いで、女性の30歳代（61.7%）、50歳代（50.6%）の順となっています。

また、女性の30歳代、40歳代、50歳代では、「男性の方が非常に優遇されている」と答えた人の割合が高くなっています。



問1 男女の地位評価 B 職場のなかで 【地域別】

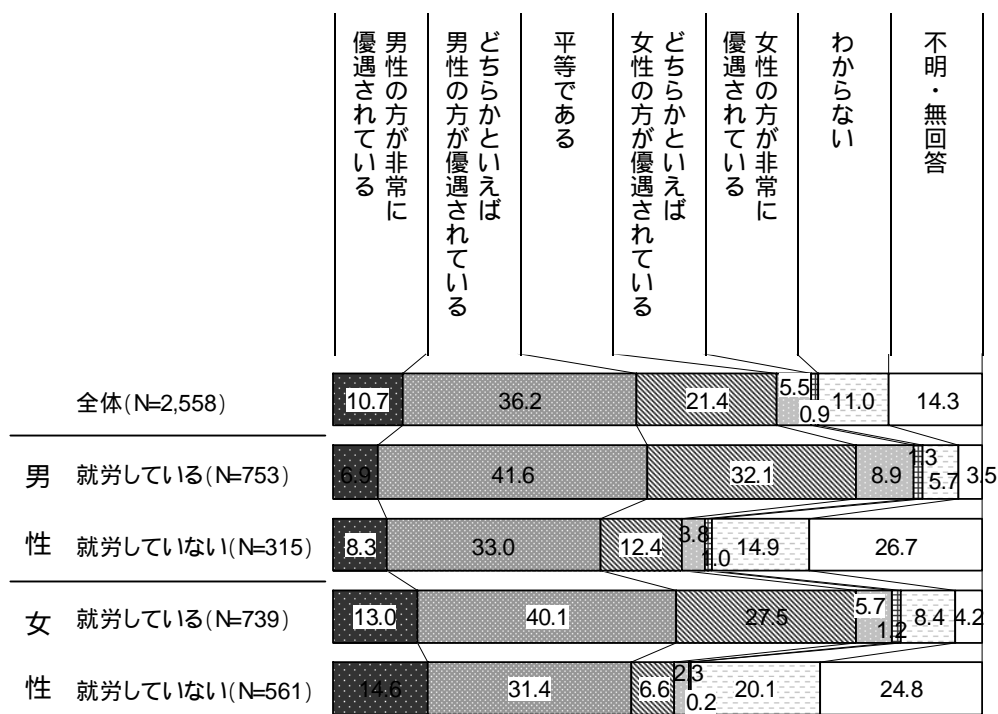


単位：%

地域別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、四日市地域（52.0%）が5割を超え、最も高い結果となっています。

「平等である」と答えた人の割合は、伊勢地域（24.6%）が最も高い結果となっています。

問1 男女の地位評価 B 職場のなかで 【性別・就労状況別】

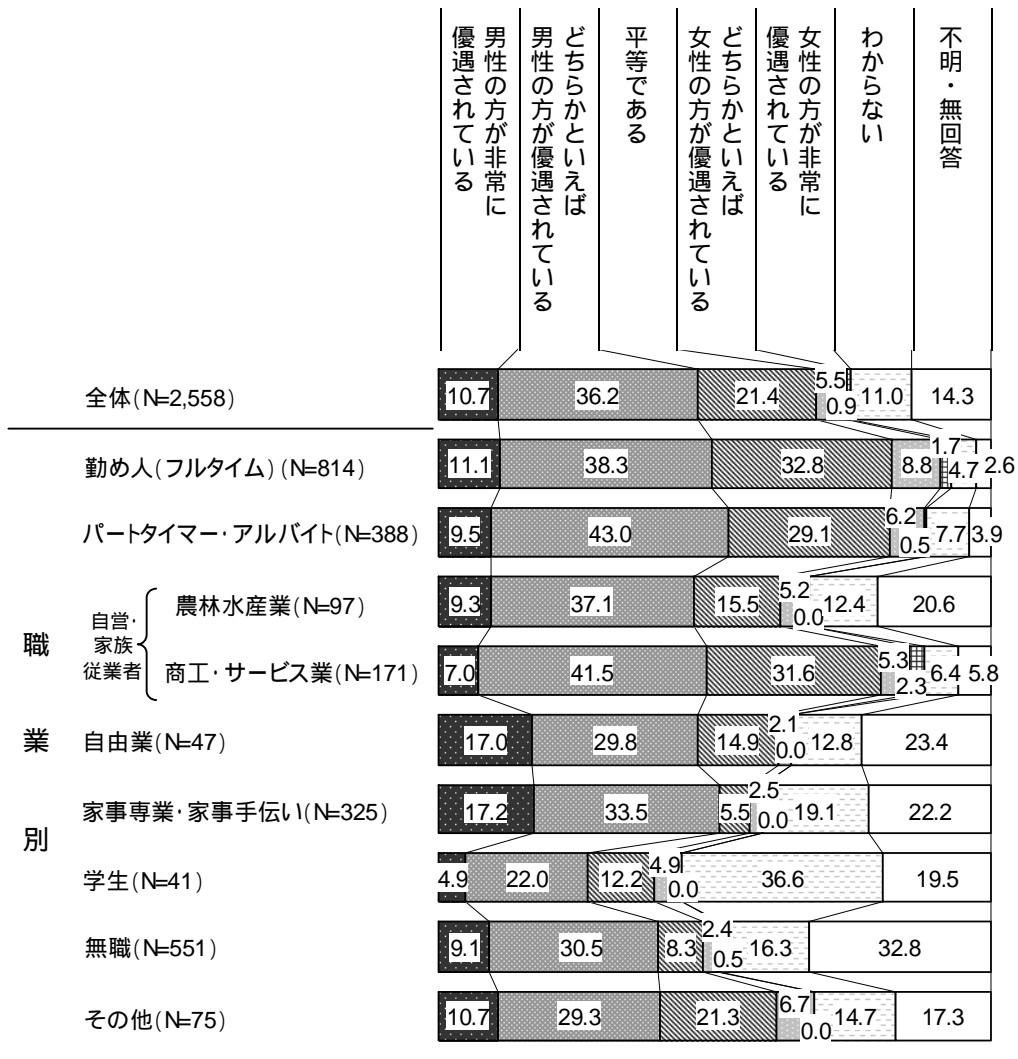


単位：%

性別・就労状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の就労している（53.1%）が最も高い結果となっています。

「平等である」と答えた人の割合は、男性の就労している（32.1%）が3割を超え、高くなっています。

問1 男女の地位評価 B 職場のなかで 【職業別】



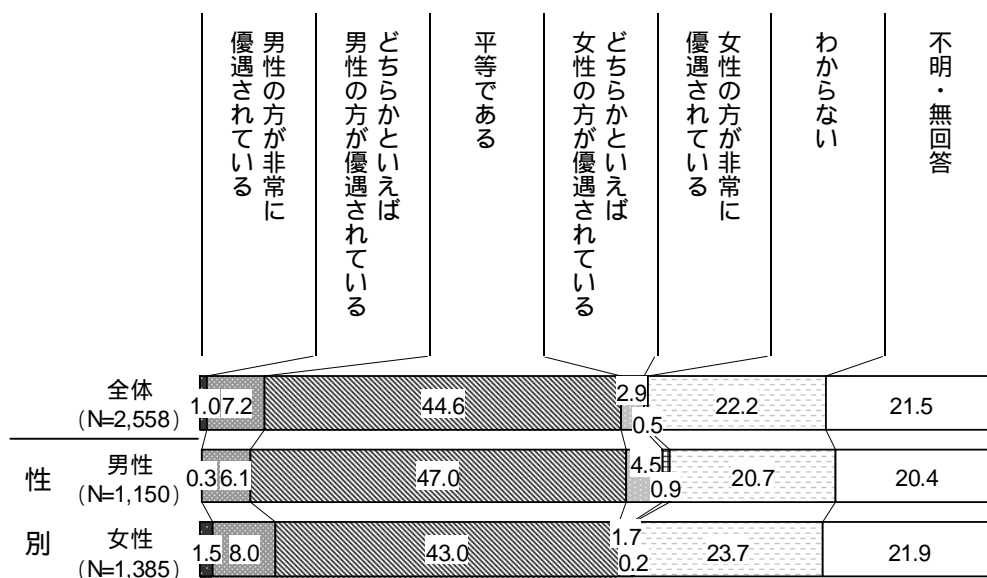
単位：%

職業別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、パートタイマー・アルバイト(52.5%)が最も高い結果となっています。

「平等である」と答えた人の割合は、勤め人(フルタイム)(32.8%)、商工・サービス業(31.6%)が3割を超え、高くなっています。

自由業、学生、その他は件数が少ないため、分析対象から除いています。

問1 男女の地位評価 C 学校のなかで 【全体/性別】

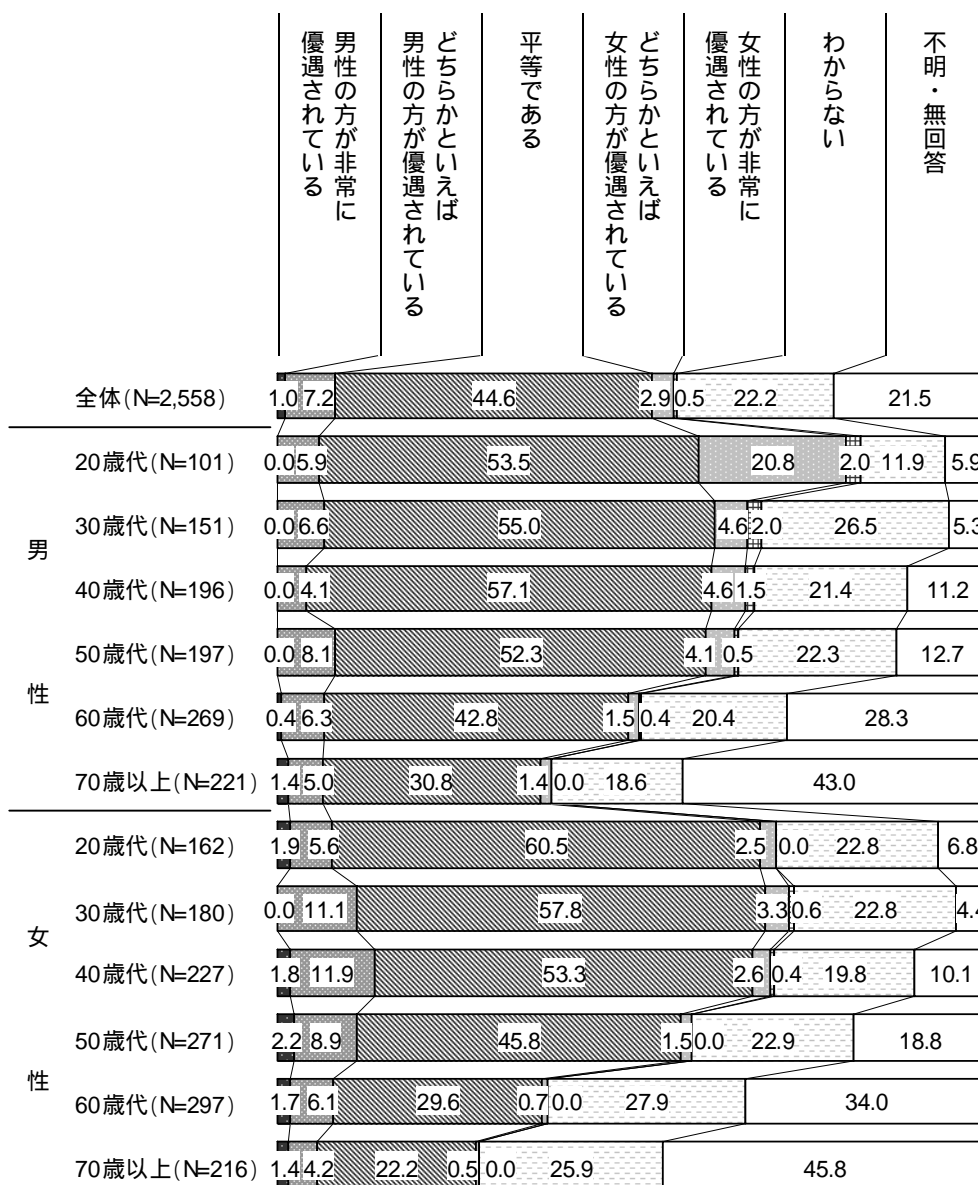


単位：%

全体では、「平等である」が44.6%で最も高い結果となっています。

性別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性(9.5%)が男性(6.4%)をわずかに上回っています。

問1 男女の地位評価 C 学校のなかで 【性別・年代別】

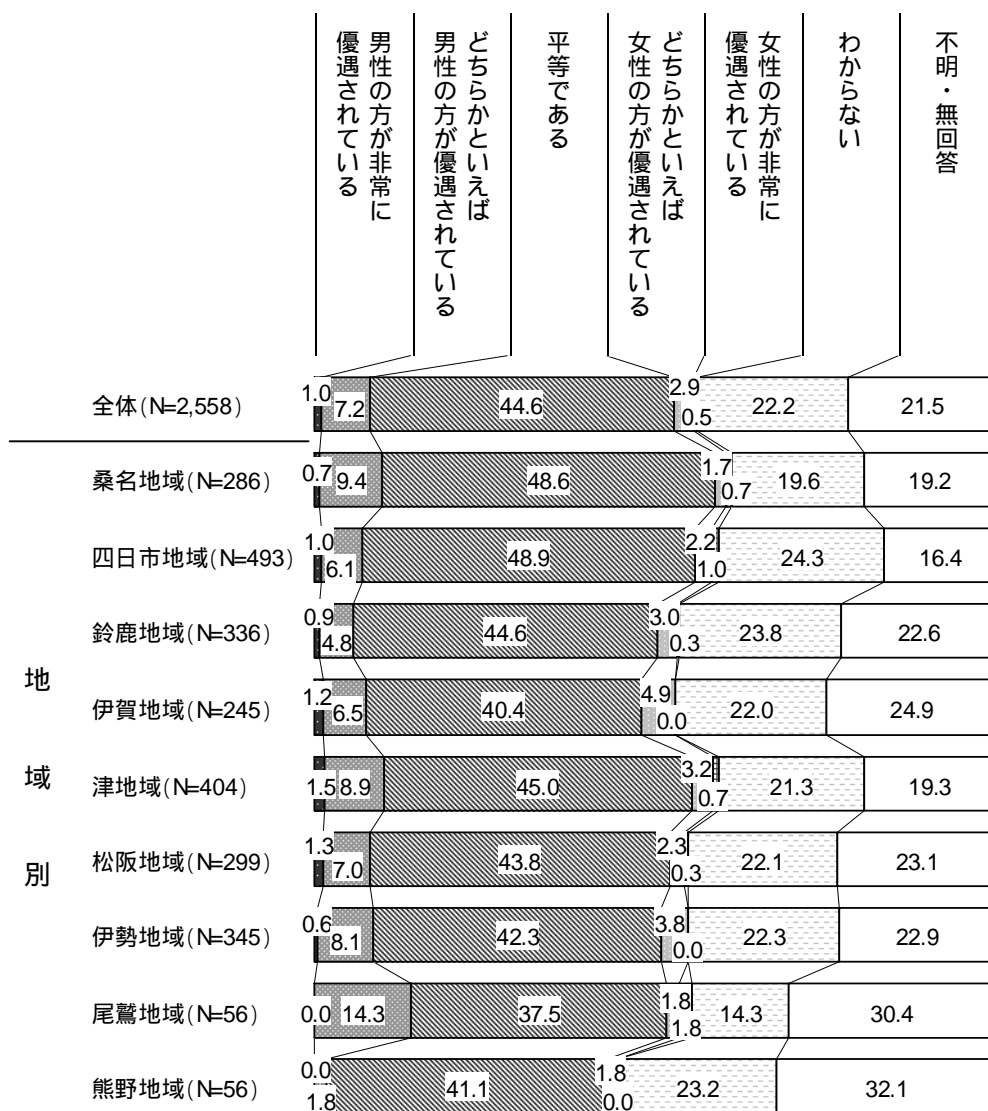


単位：%

性別・年代別でみると、「平等である」と答えた人の割合は、女性の20歳代（60.5%）が6割を超え、高くなっています。

『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の30歳代（11.1%）、40歳代（13.7%）、50歳代（11.1%）が1割以上となっています。

問1 男女の地位評価 C 学校のなかで 【地域別】

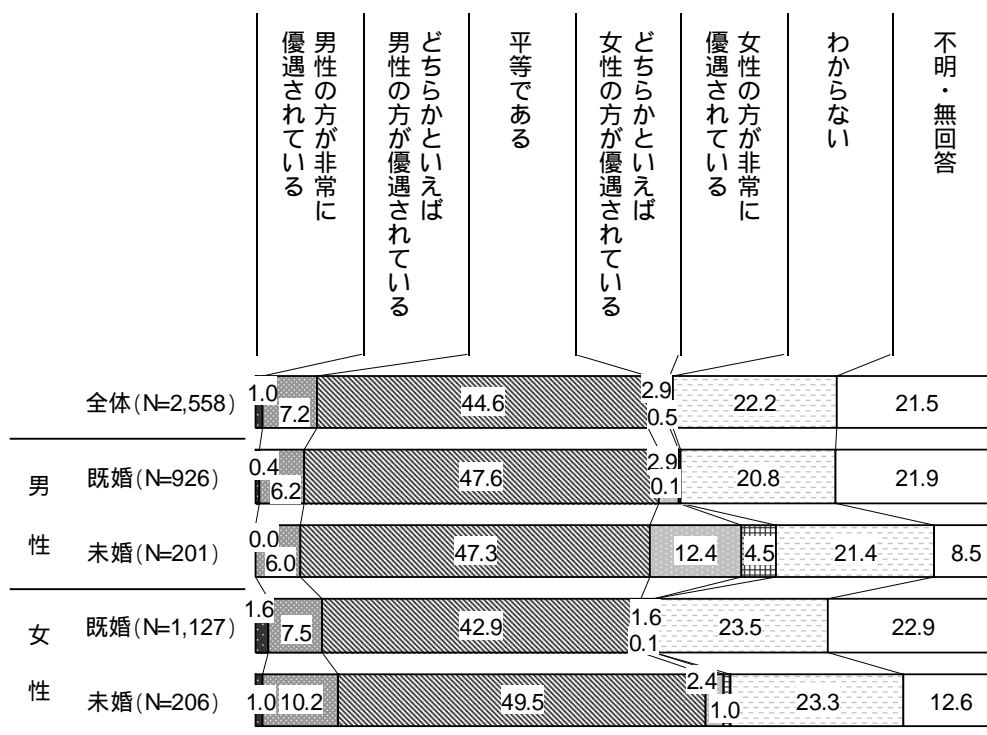


単位：%

地域別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、尾鷲地域(14.3%)が最も高い結果となっています。

「平等である」と答えた人の割合は、四日市地域(48.9%)が最も高い結果となっています。

問1 男女の地位評価 C 学校のなかで 【性別・婚姻状況別】

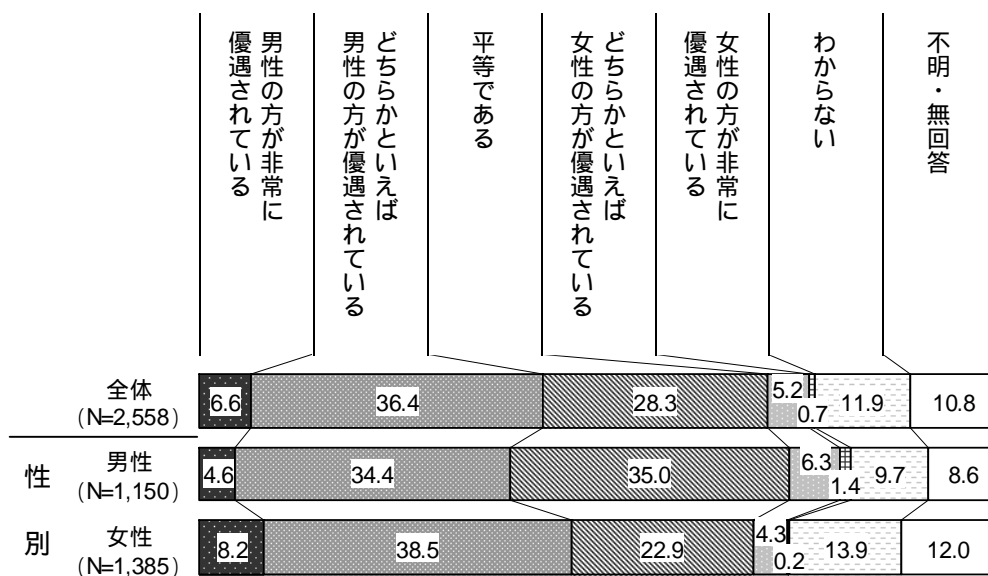


単位：%

性別・婚姻状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の未婚者（11.2%）が最も高い結果となっています。

『女性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、男性の未婚者（16.9%）が最も高い結果となっています。

問1 男女の地位評価 D 地域のなかで 【全体/性別】



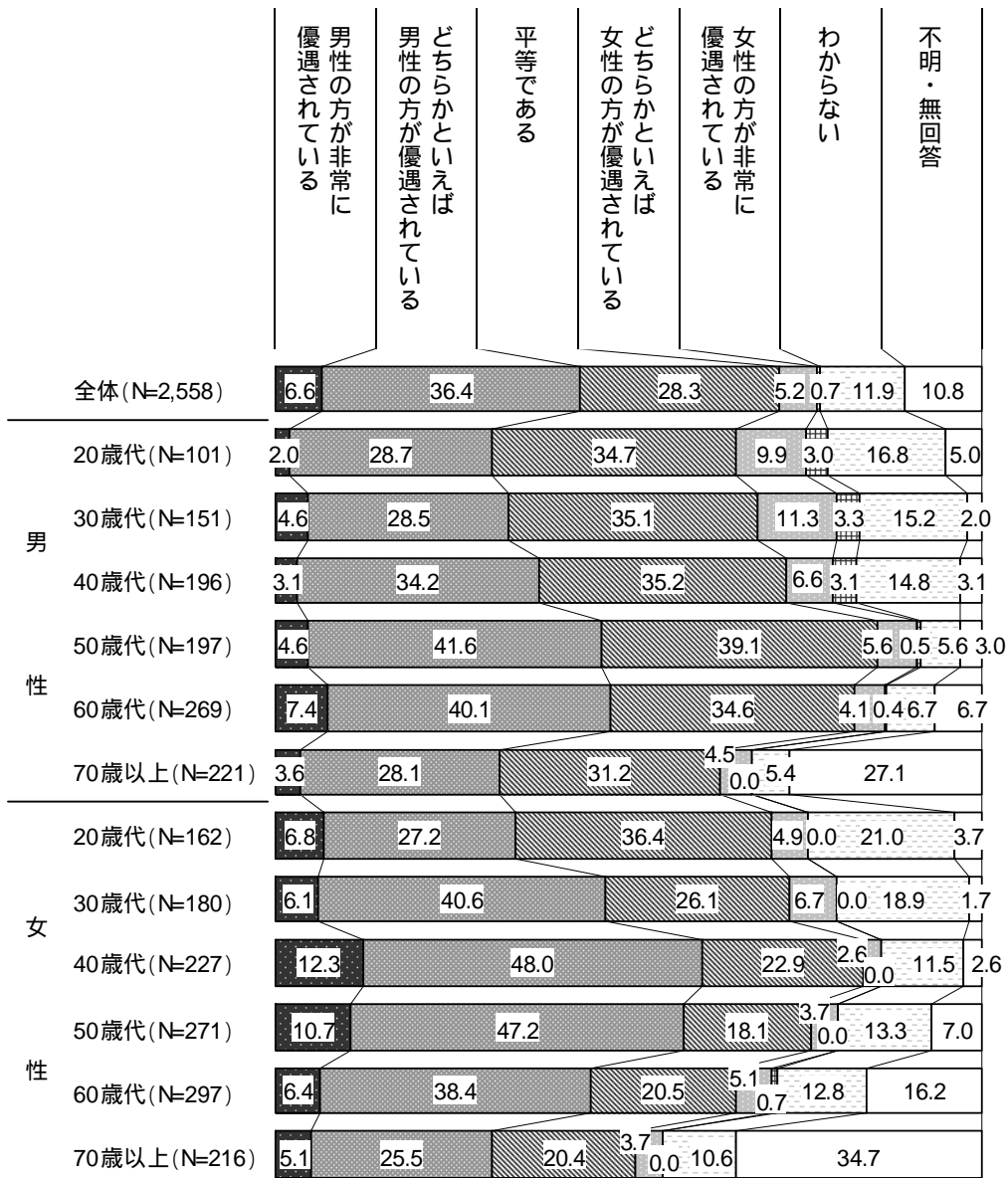
単位：%

全体では、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合が 43.0%で高い結果となっています。

性別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性（46.7%）が男性（39.0%）を7.7ポイント上回っています。



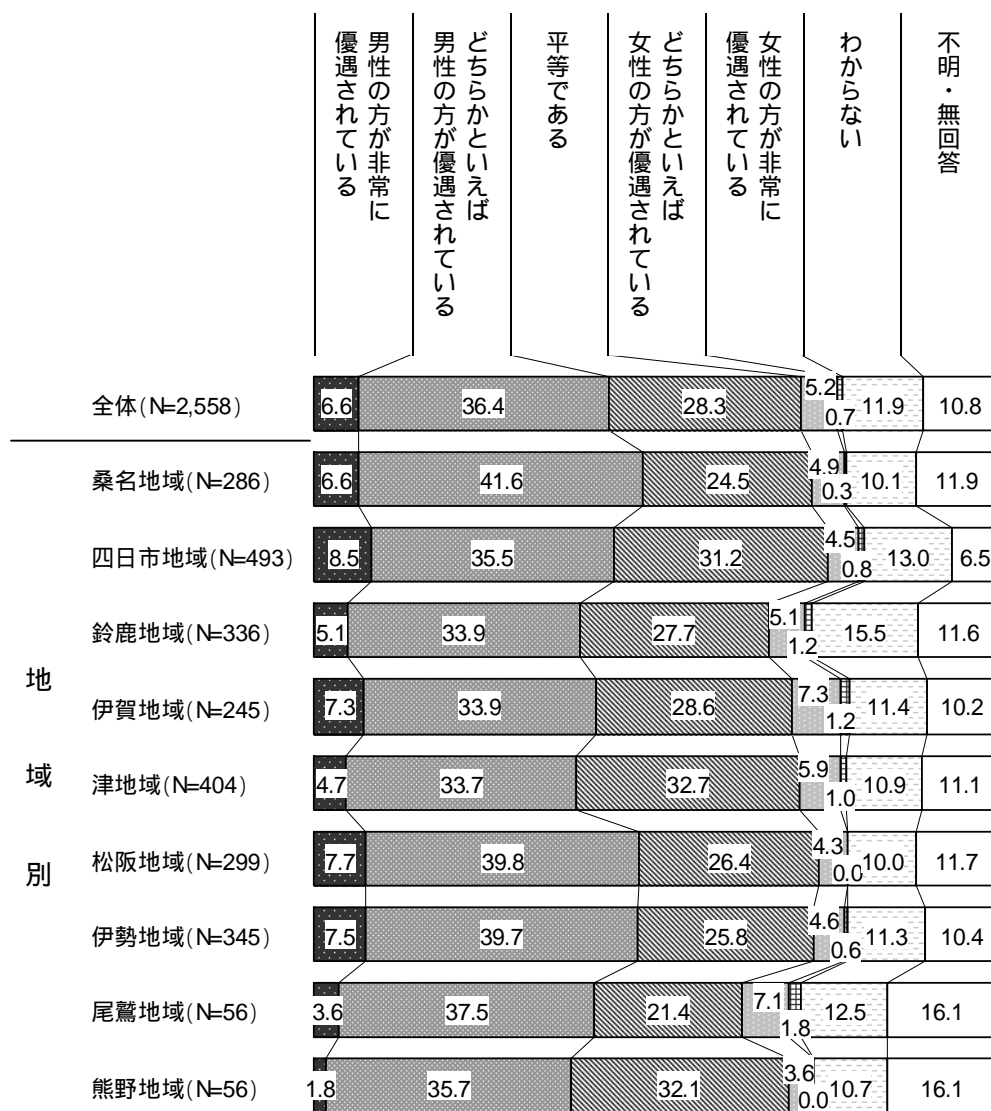
問1 男女の地位評価 D 地域のなかで 【性別・年代別】



単位：%

性別・年代別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の40歳代（60.3%）が6割を超えて最も高く、50歳代（57.9%）も5割以上となっています。

問1 男女の地位評価 D 地域のなかで 【地域別】

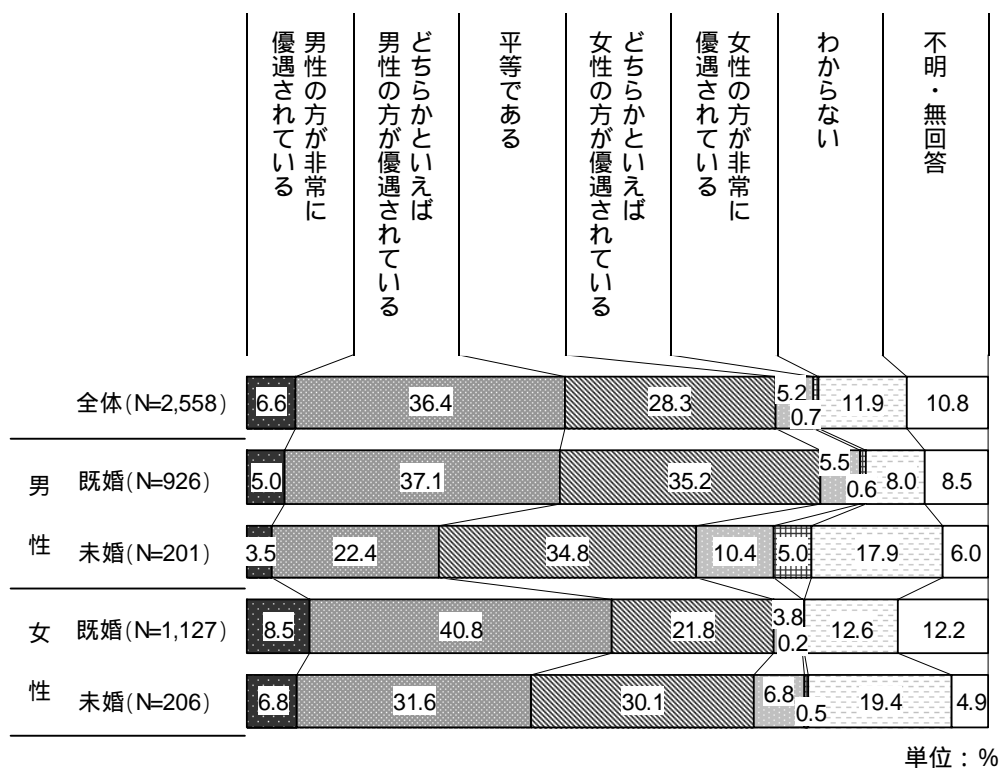


単位：%

地域別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、桑名地域（48.2%）、松阪地域（47.5%）、伊勢地域（47.2%）が高い結果となっています。

「平等である」と答えた人の割合は、津地域（32.7%）が最も高い結果となっています。

問1 男女の地位評価 D 地域のなかで 【性別・婚姻状況別】

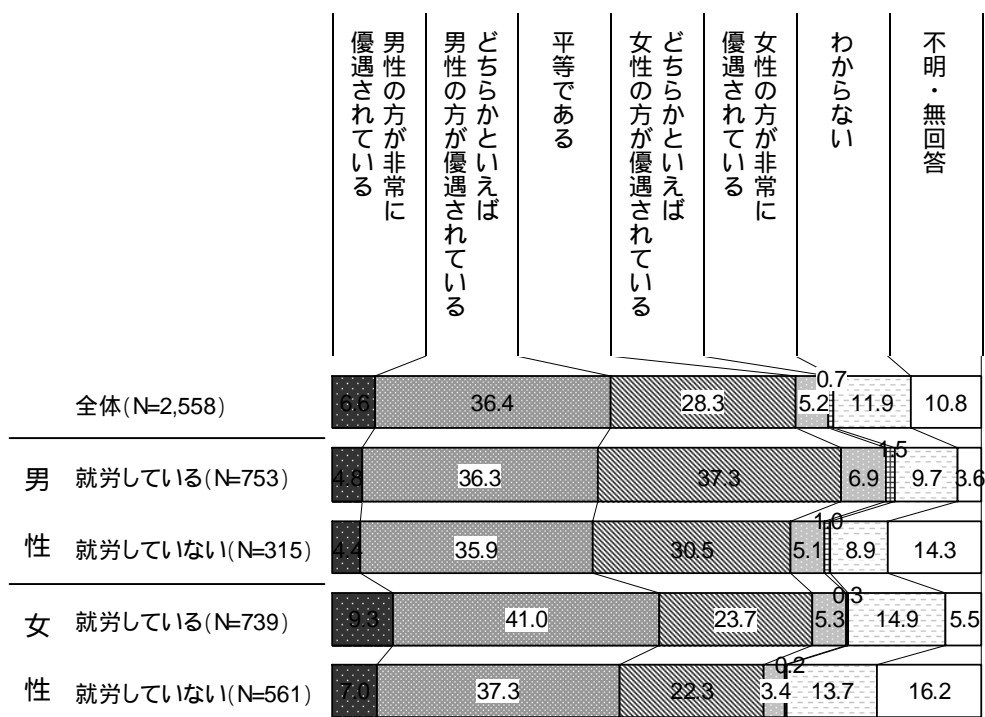


性別・婚姻状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の既婚者（49.3%）が最も高い結果となっています。

『女性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、男性の未婚者（15.4%）が最も高い結果となっています。

「平等である」と答えた人の割合は、女性の既婚者（21.8%）が最も低くなっています。

問1 男女の地位評価 D 地域のなかで 【性別・就労状況別】



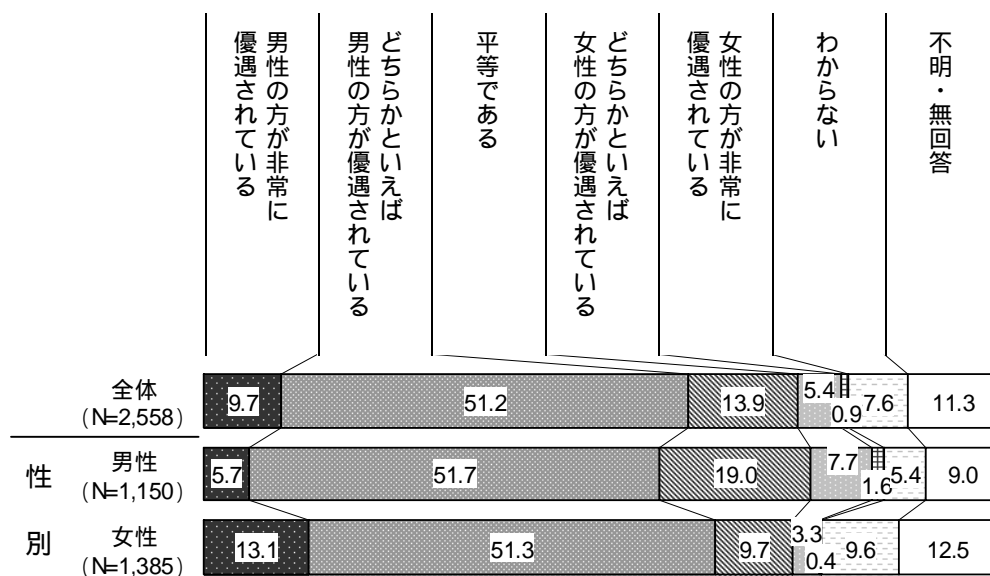
単位：％

性別・就労状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の就労している（50.3％）が最も高い結果となっています。

『女性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、男性の就労している（8.4％）が最も高い結果となっています。

「平等である」と答えた人の割合は、男性の就労している（37.3％）が最も高くなっています。

問1 男女の地位評価 E 社会通念や風潮で 【全体 / 性別】

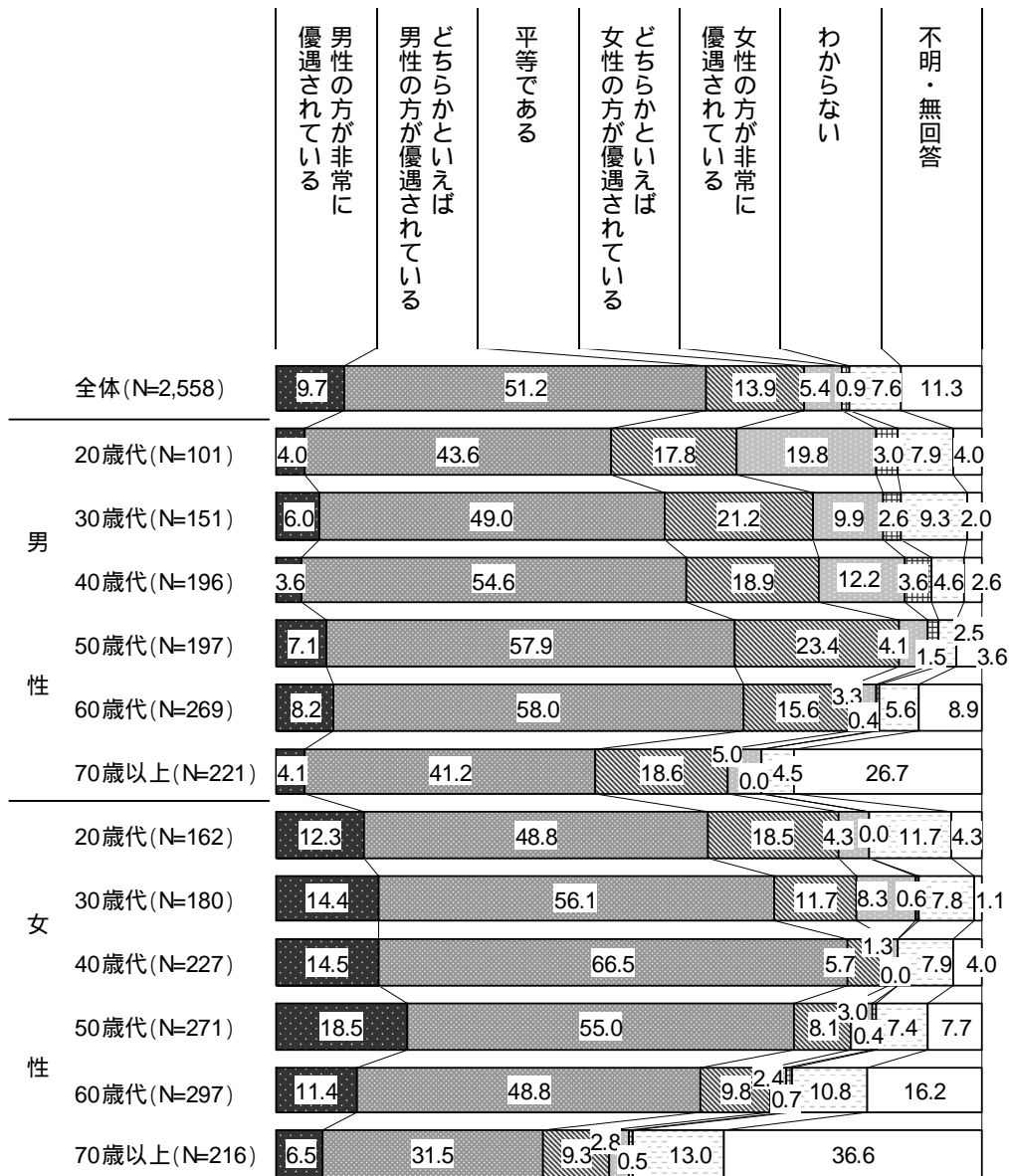


単位：%

全体では、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、60.9%で6割を超え、高くなっています。

性別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性（64.4%）が男性（57.4%）を7.0ポイント上回っています。

問1 男女の地位評価 E 社会通念や風潮で 【性別・年代別】

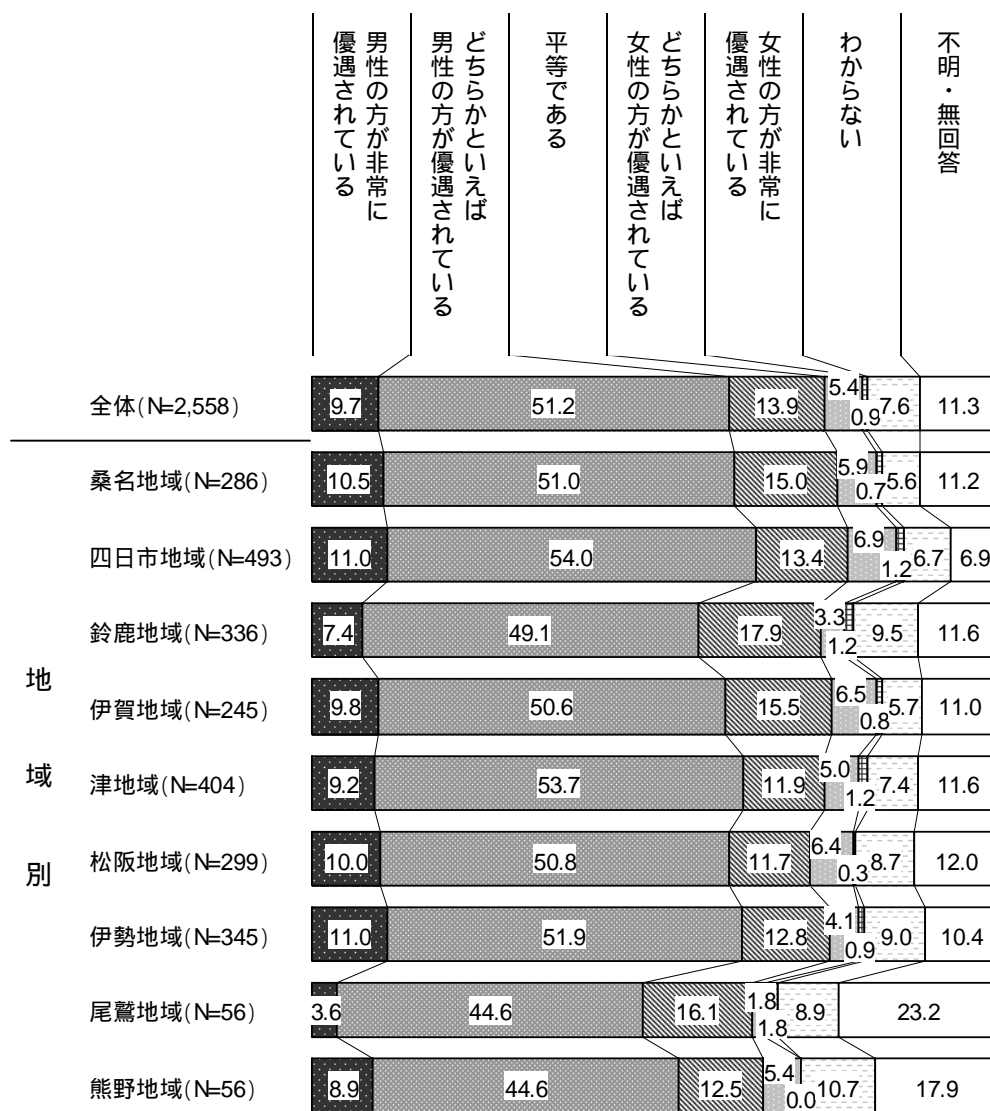


単位：%

性別・年代別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の40歳代（81.0%）、50歳代（73.5%）、30歳代（70.5%）が7割を超え、高くなっています。

「平等である」と答えた人の割合は、男性の50歳代（23.4%）が最も高く、女性の40歳代（5.7%）が最も低い結果となっています。

問1 男女の地位評価 E 社会通念や風潮で 【地域別】

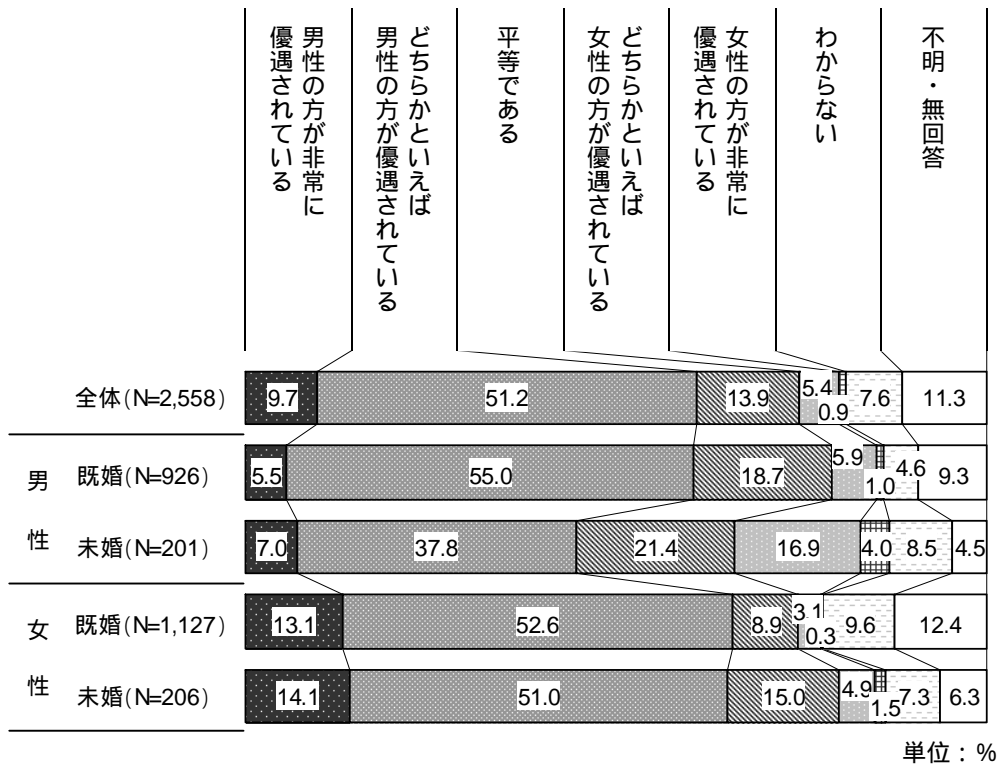


単位：%

地域別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、四日市地域(65.0%)、津地域(62.9%)、伊勢地域(62.9%)が高くなっています。

「平等である」と答えた人の割合は、鈴鹿地域(17.9%)が最も高い結果となっています。

問1 男女の地位評価 E 社会通念や風潮で 【性別・婚姻状況別】



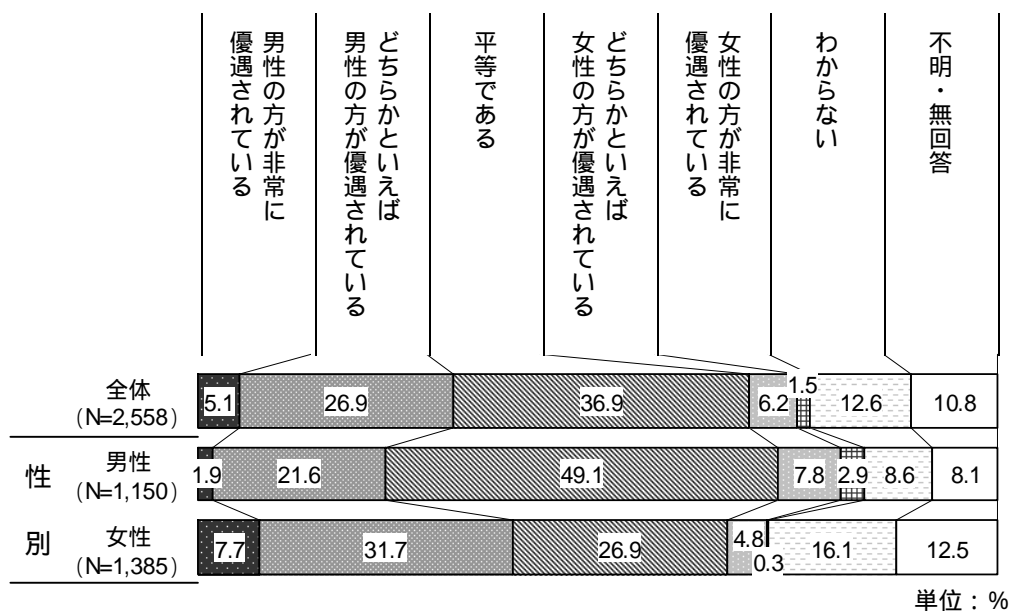
性別・婚姻状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の既婚者（65.7%）が最も高い結果となっています。

『女性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、男性の未婚者（20.9%）が最も高い結果となっています。

「平等である」と答えた人の割合は、女性の既婚者（8.9%）が最も低くなっています。



問1 男女の地位評価 F 法律や制度の上で 【全体 / 性別】

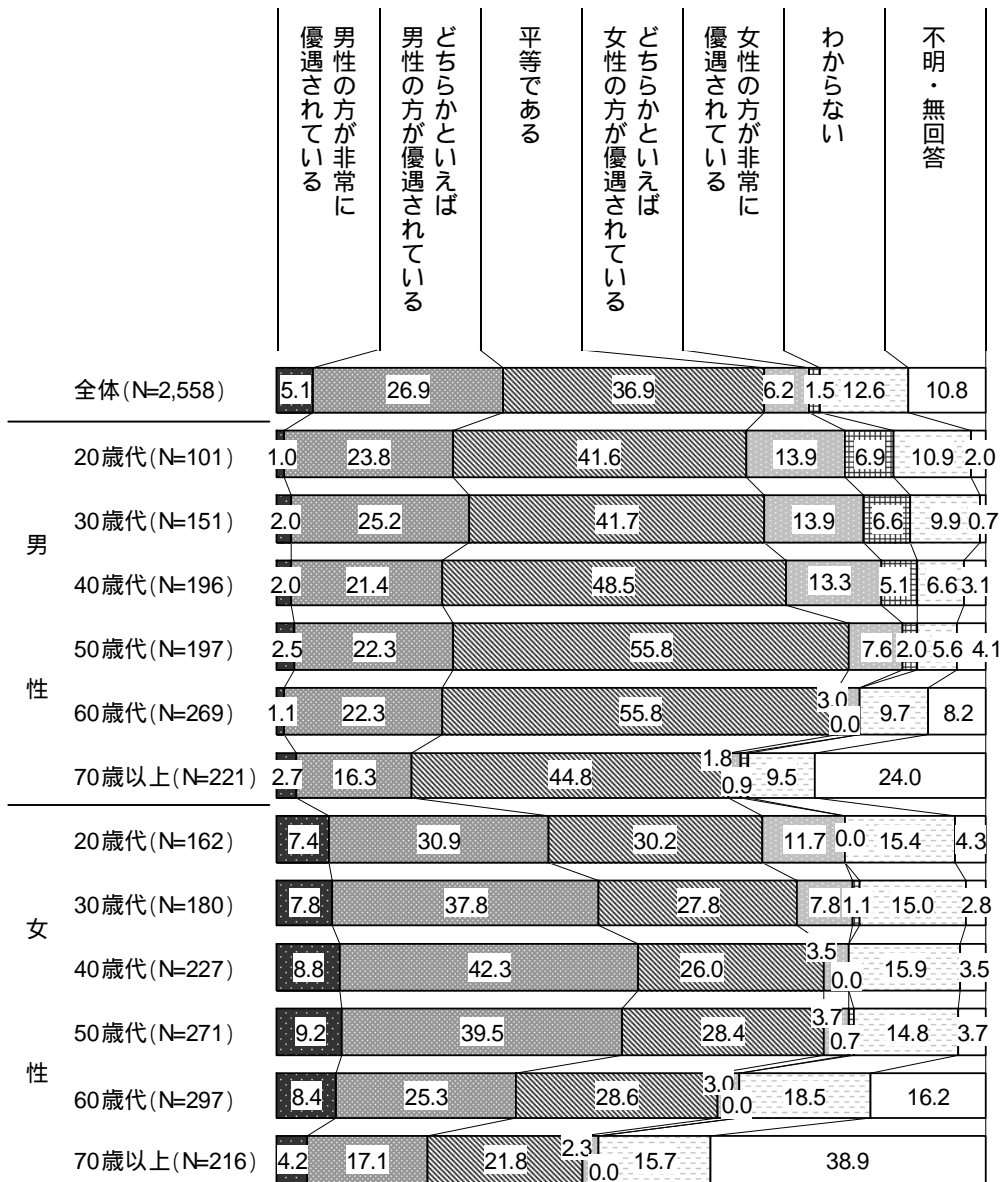


全体では、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は32.0%となっています。「平等である」と答えた人の割合は36.9%となっています。

性別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性（39.4%）が男性（23.5%）を15.9ポイント上回っています。

「平等である」と答えた人の割合は、男性（49.1%）が女性（26.9%）を22.2ポイント上回っています。

問1 男女の地位評価 F 法律や制度の上で 【性別・年代別】

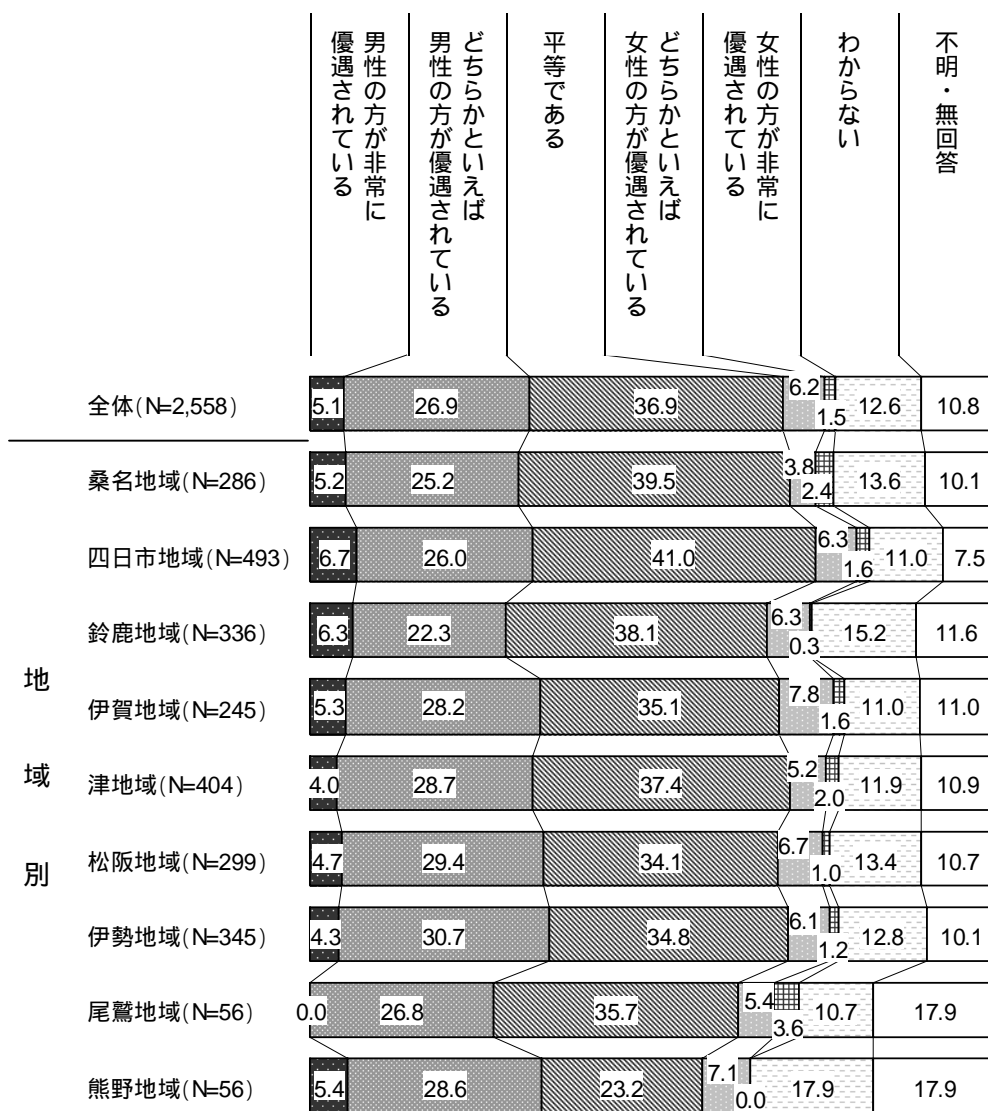


単位：%

性別・年代別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の40歳代（51.1%）が最も高く、次いで50歳代（48.7%）、30歳代（45.6%）となっています。

「平等である」と答えた人の割合は、男性の50歳代と60歳代（55.8%）が最も高い結果となっています。

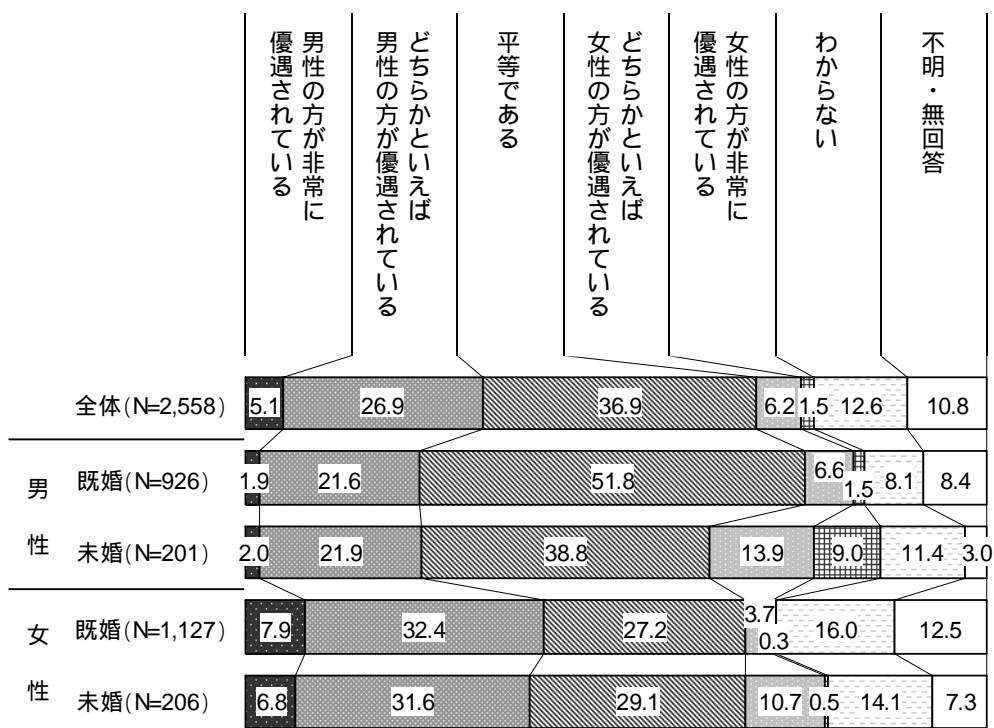
問1 男女の地位評価 F 法律や制度の上で 【地域別】



単位：%

地域別でみると、「平等である」と答えた人の割合は、四日市地域(41.0%)が最も高く、熊野地域(23.2%)が最も低くなっています。

問1 男女の地位評価 F 法律や制度の上で 【性別・婚姻状況別】

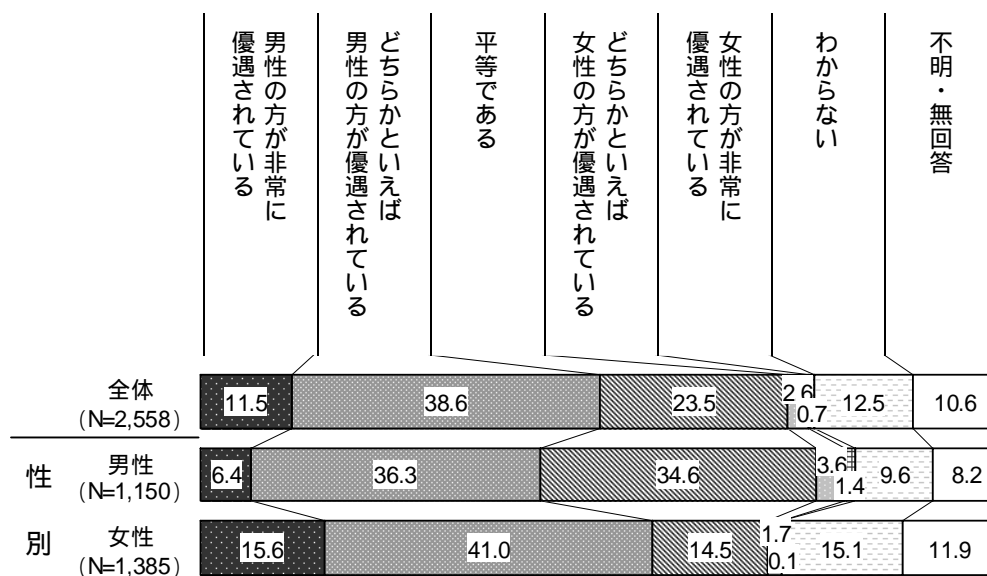


単位：%

性別・婚姻状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の既婚者（40.3%）が最も高い結果となっています。

『女性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、男性の未婚者（22.9%）が最も高い結果となっています。

問1 男女の地位評価 G 政治(政策決定)の場で 【全体/性別】



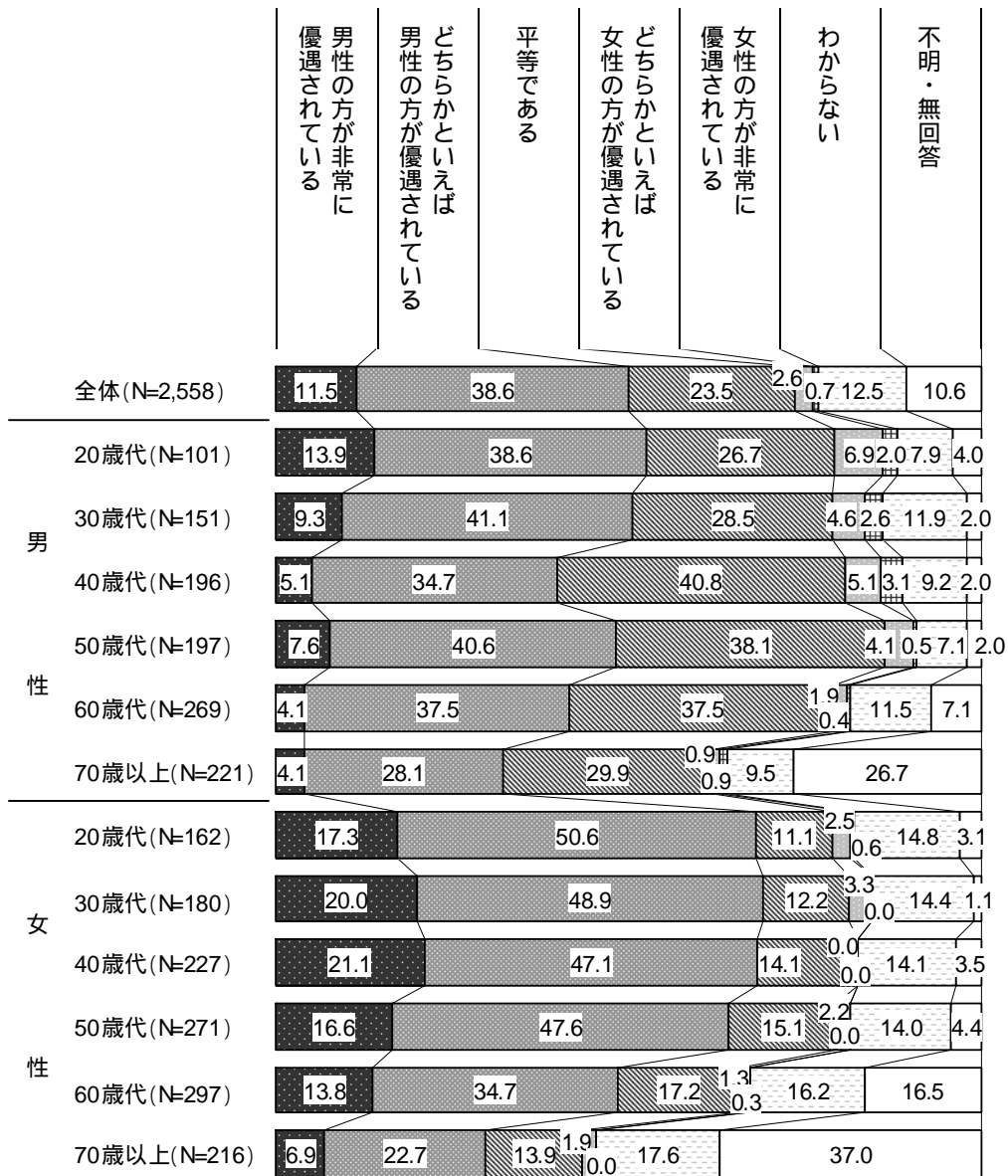
単位：%

全体では、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は50.1%となっています。「平等である」と答えた人の割合は23.5%となっています。

性別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性（56.6%）が男性（42.7%）を13.9ポイント上回っています。

「平等である」と答えた人は、男性（34.6%）が女性（14.5%）を20ポイント以上、上回っています。

問1 男女の地位評価 G 政治(政策決定)の場で 【性別・年代別】

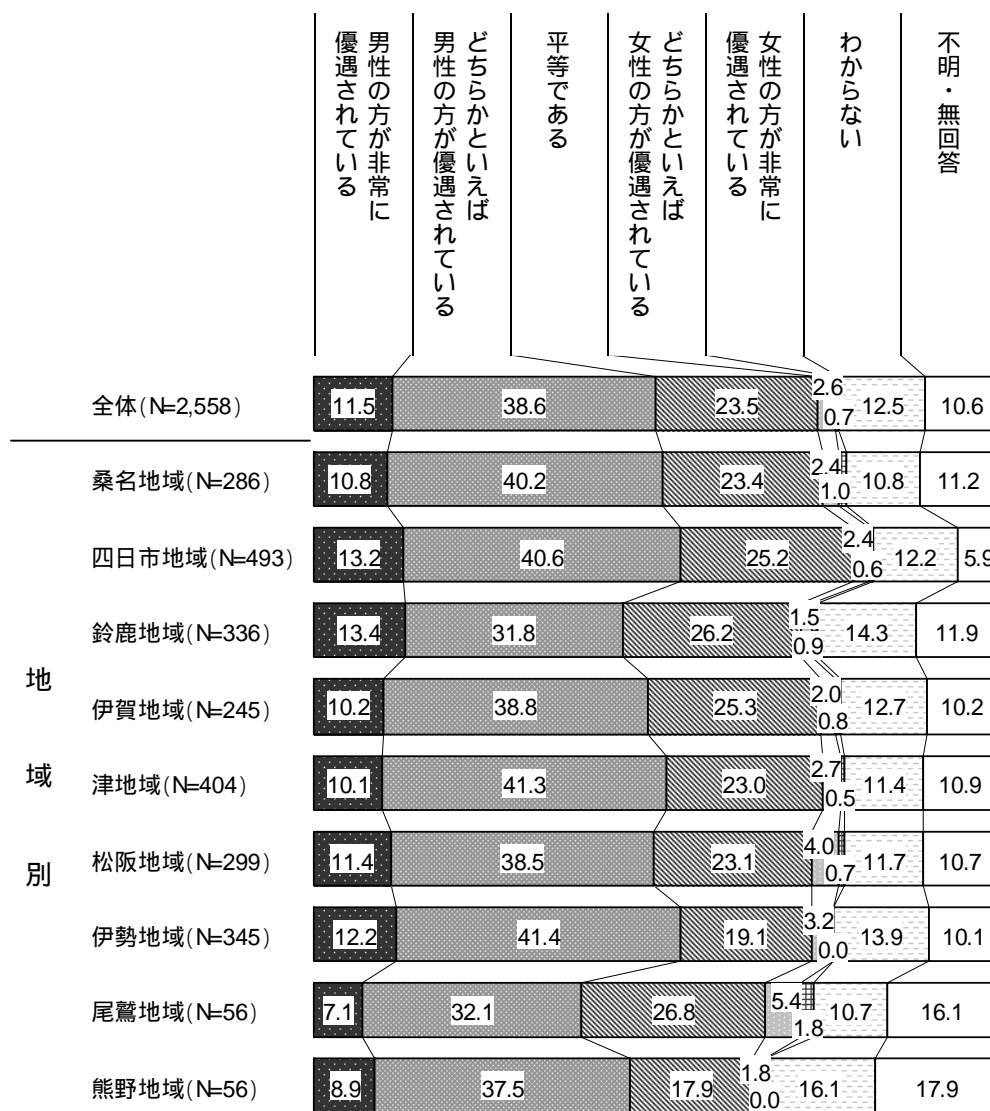


単位：%

性別・年代別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の20歳代(67.9%)、30歳代(68.9%)、40歳代(68.2%)が高くなっています。

「平等である」と答えた人の割合は、男性の40歳代(40.8%)が最も高い結果となっています。

問1 男女の地位評価 G 政治(政策決定)の場で 【地域別】

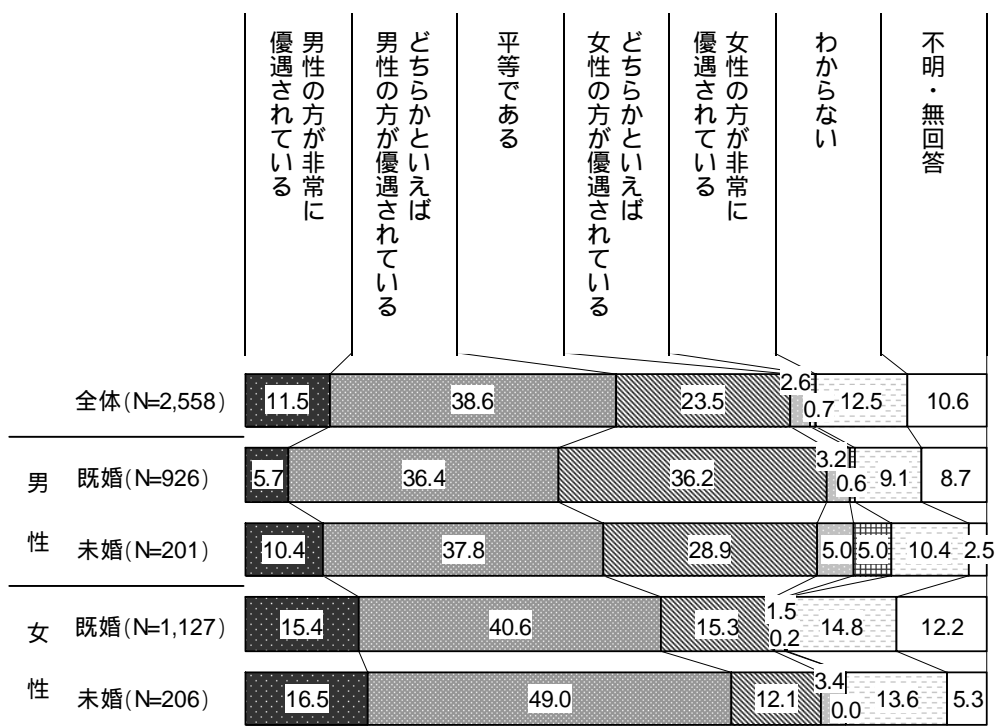


単位：%

地域別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、四日市地域(53.8%)、伊勢地域(53.6%)が高くなっています。

「平等である」と答えた人の割合は、尾鷲地域(26.8%)が最も高い結果となっています。

問1 男女の地位評価 G 政治(政策決定)の場で 【性別・婚姻状況別】



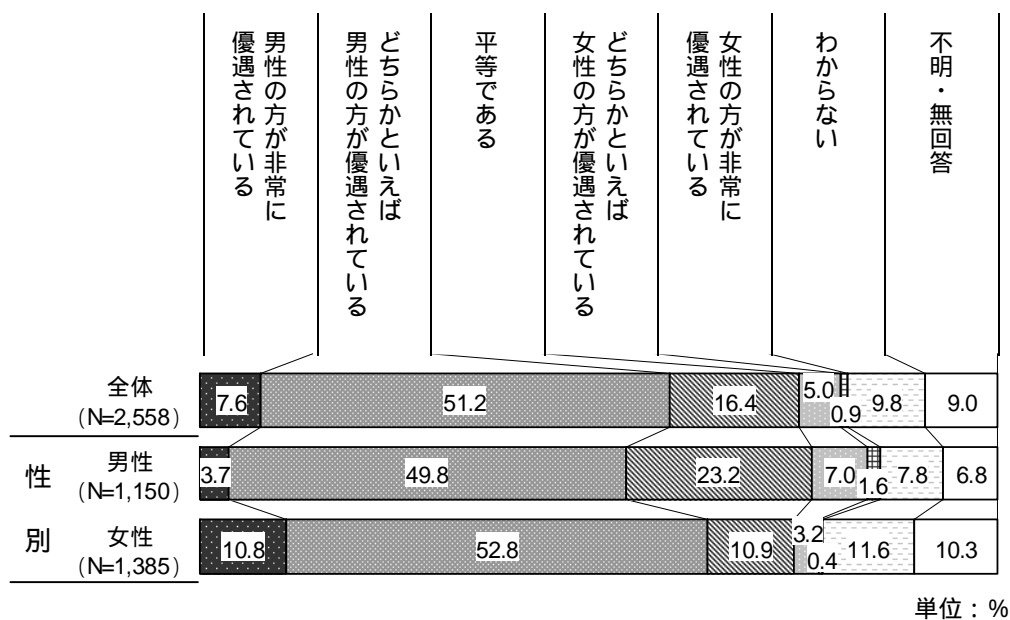
単位：%

性別・婚姻状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の未婚者（65.5%）が最も高い結果となっています。

「平等である」と答えた人の割合は、男性の既婚者（36.2%）が最も高い結果となっています。



問1 男女の地位評価 H 社会全体で 【全体/性別】

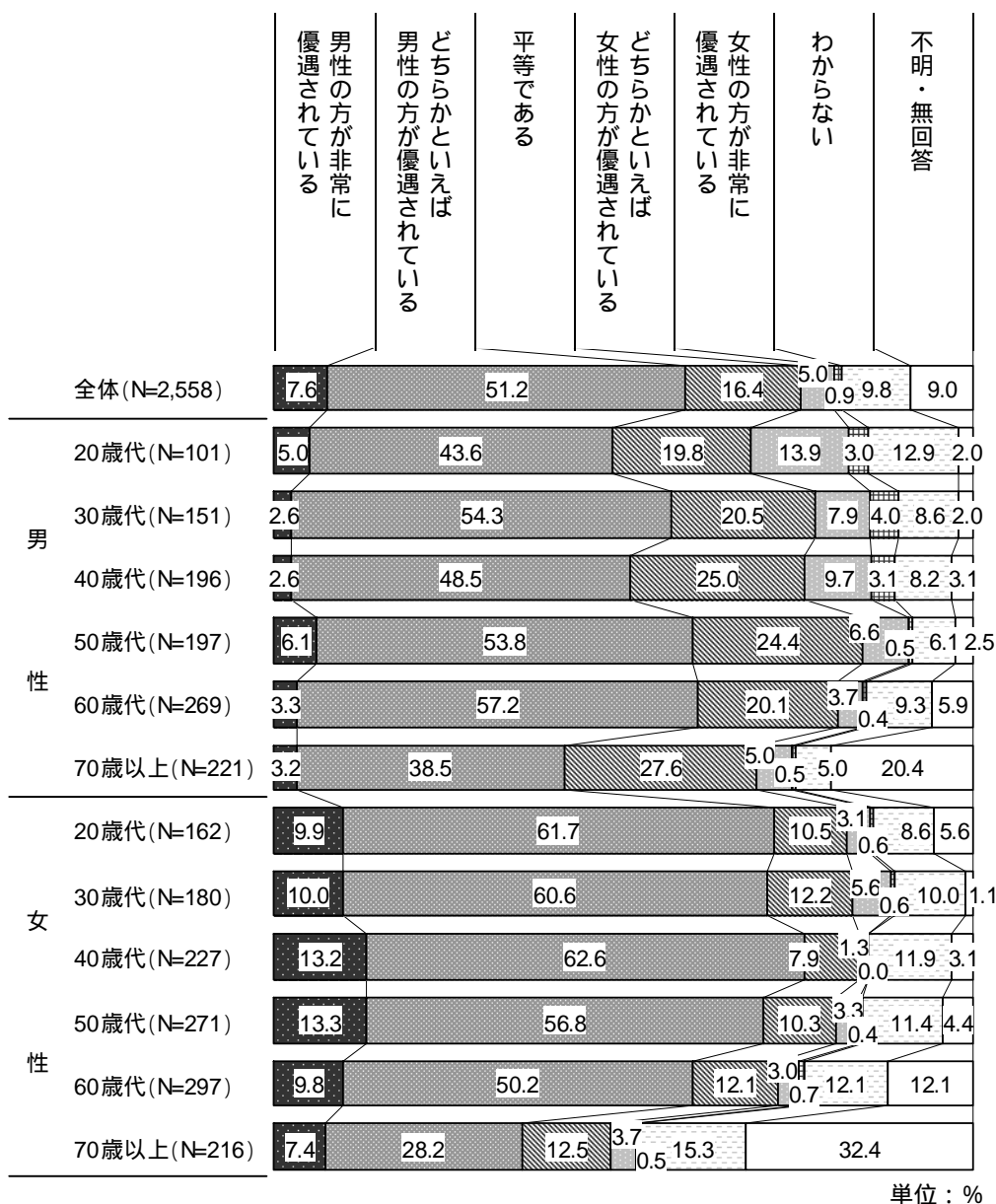


全体では、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合が 58.8%で高い結果となっています。

性別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性（63.6%）が男性（53.5%）を上回っています。

「平等である」と答えた人の割合は、男性（23.2%）が女性（10.9%）を 12.3 ポイント上回っています。

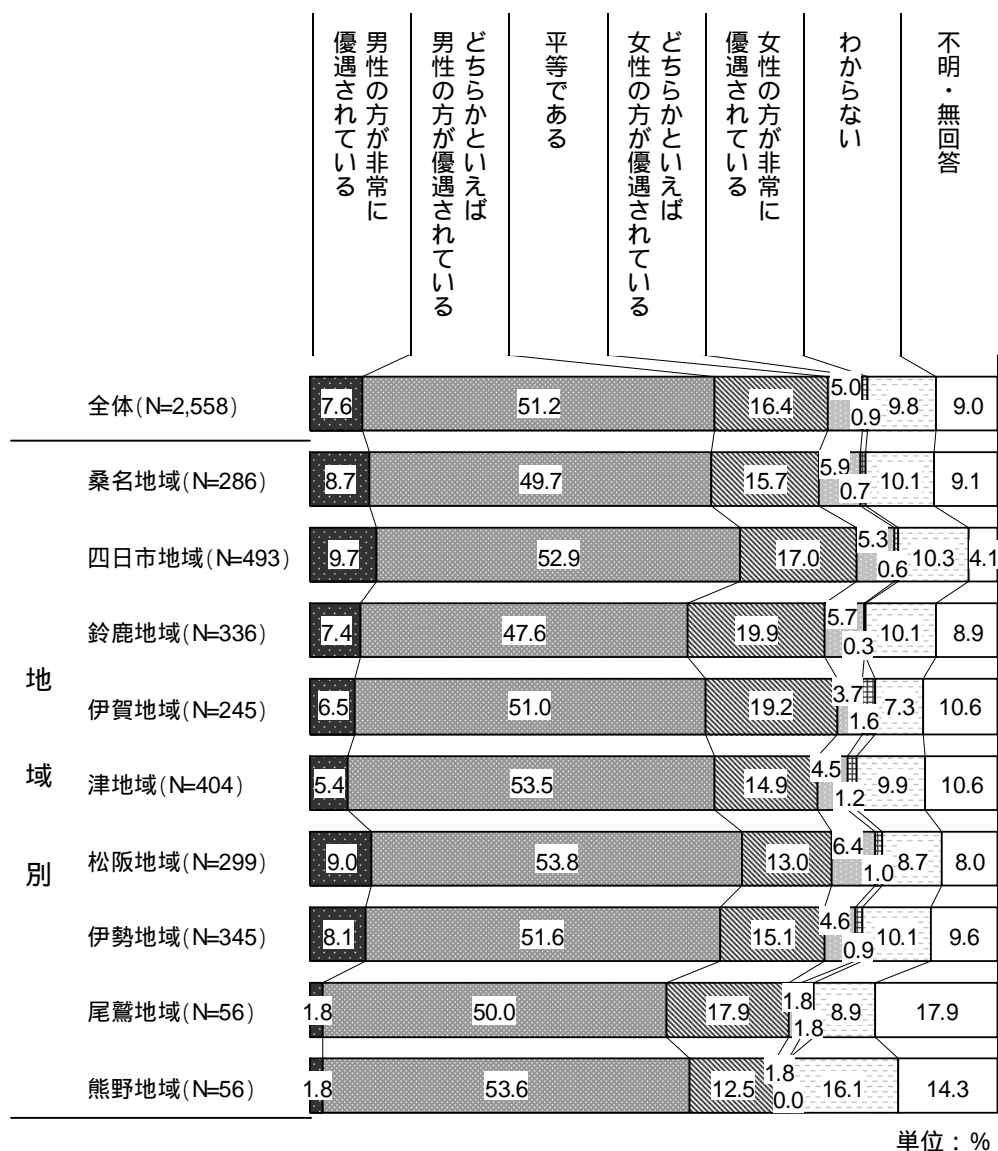
問1 男女の地位評価 H 社会全体で 【性別・年代別】



性別・年代別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の40歳代（75.8%）が最も高い結果となっています。

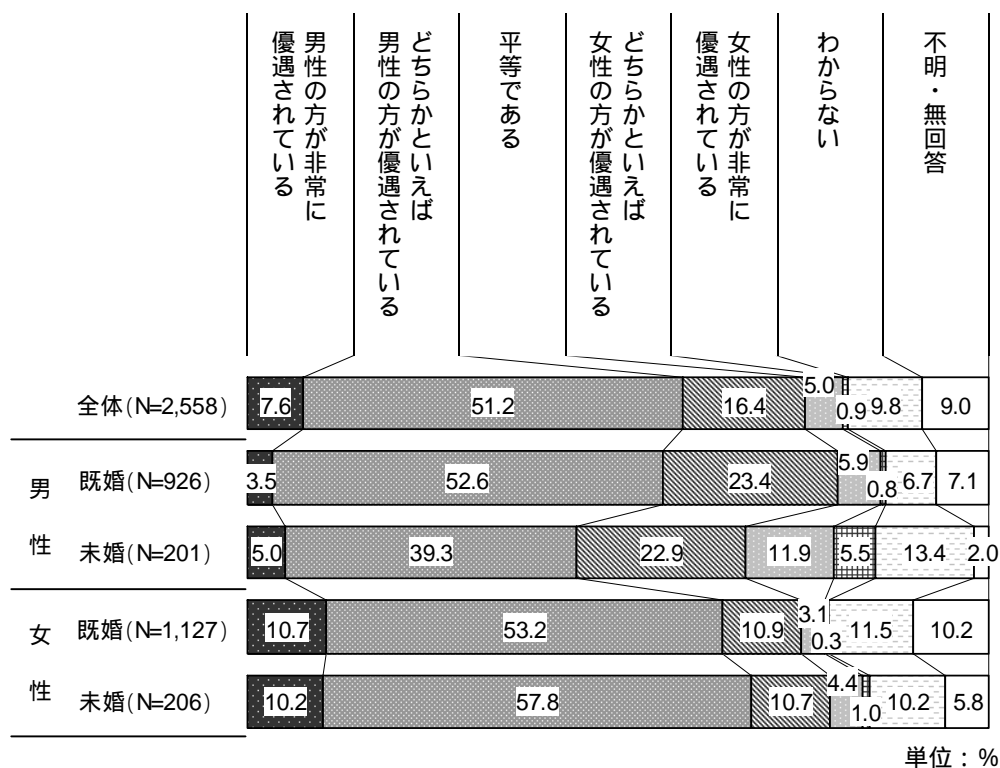
「平等である」と答えた人の割合は、男性の70歳以上（27.6%）が最も高くなっています。

問1 男女の地位評価 H 社会全体で 【地域別】



地域別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、四日市地域( 62.6% )、松阪地域( 62.8% )が高くなっています。

問1 男女の地位評価 H 社会全体で 【性別・婚姻状況別】



性別・婚姻状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の未婚者（68.0%）が最も高い結果となっています。

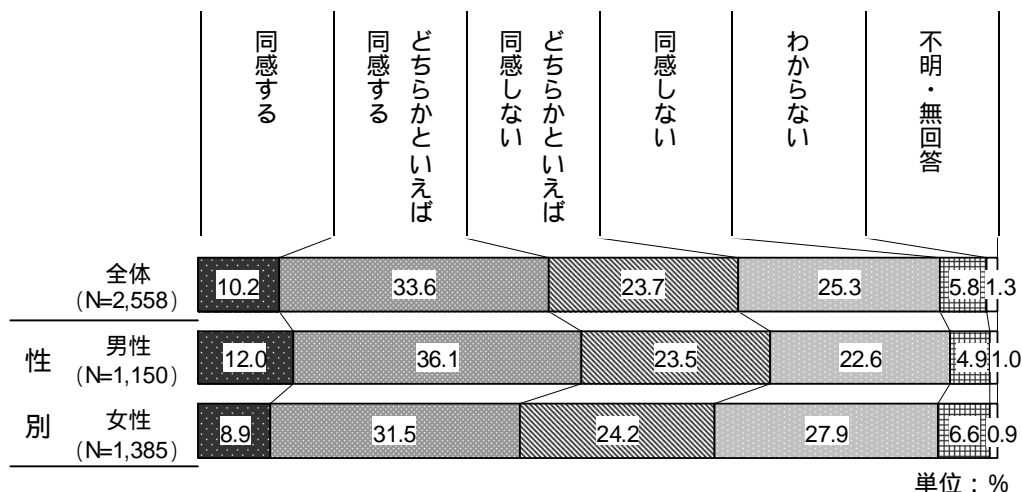
「平等である」と答えた人の割合は、男性の既婚者（23.4%）が最も高い結果となっています。

『女性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、男性の未婚者（17.4%）が最も高い結果となっています。

## (2)「男は仕事、女は家庭」という考え方について

問2 .「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。次の中から1つ選んで 印をつけてください。

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方について 【全体 / 性別】

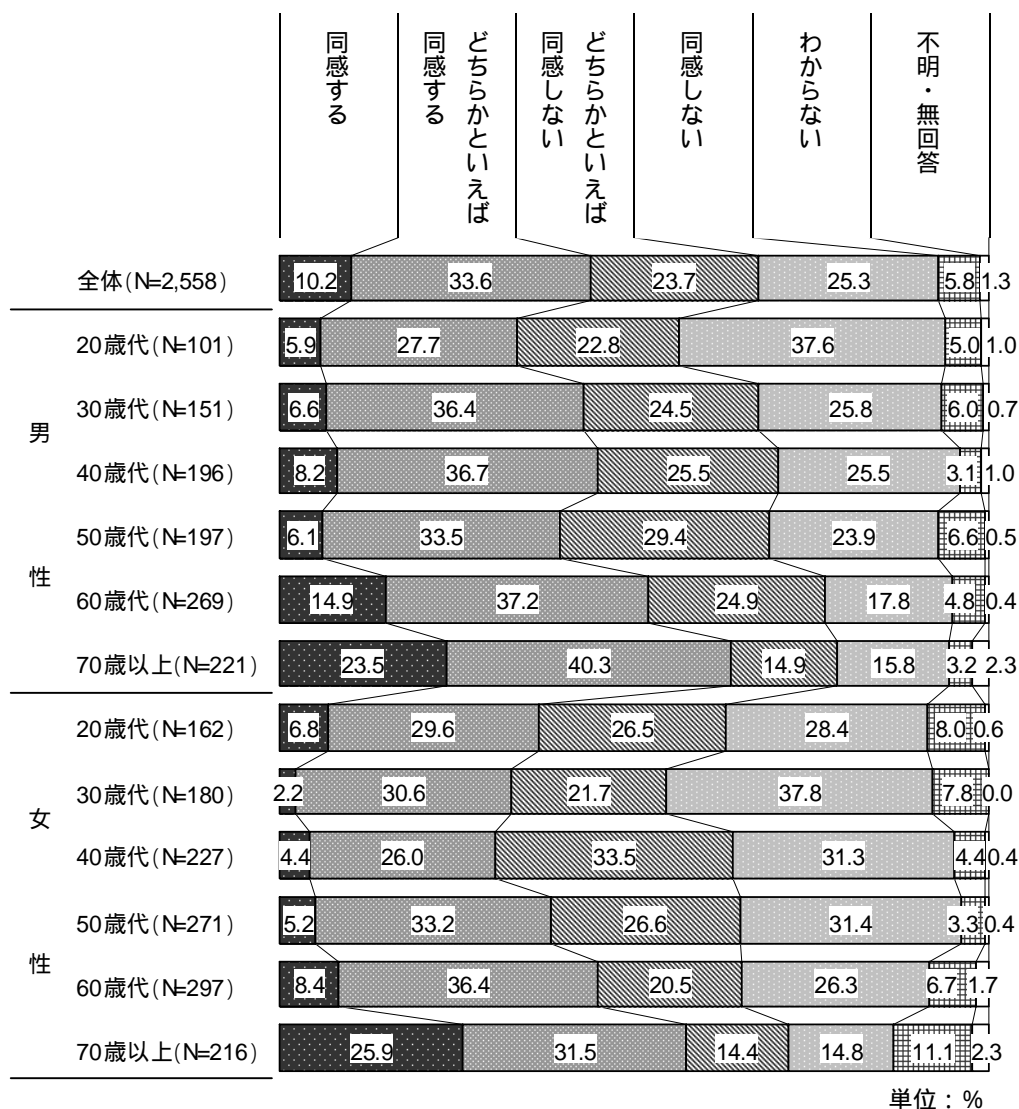


全体では、『同意する』と答えた人の割合は43.8%、『同意しない』と答えた人の割合は49.0%となっています。

性別で見ると、『同意する』と答えた人は、男性(48.1%)が女性(40.4%)を上回っており、『同意しない』と答えた人は、女性(52.1%)が5割を超えています。

『同意する』は、本来の選択肢の「同意する」と「どちらかといえば同意する」の割合を合計したものです。また、『同意しない』は、「どちらかといえば同意しない」と「同意しない」の割合を合計したものです。以降のページも同様。

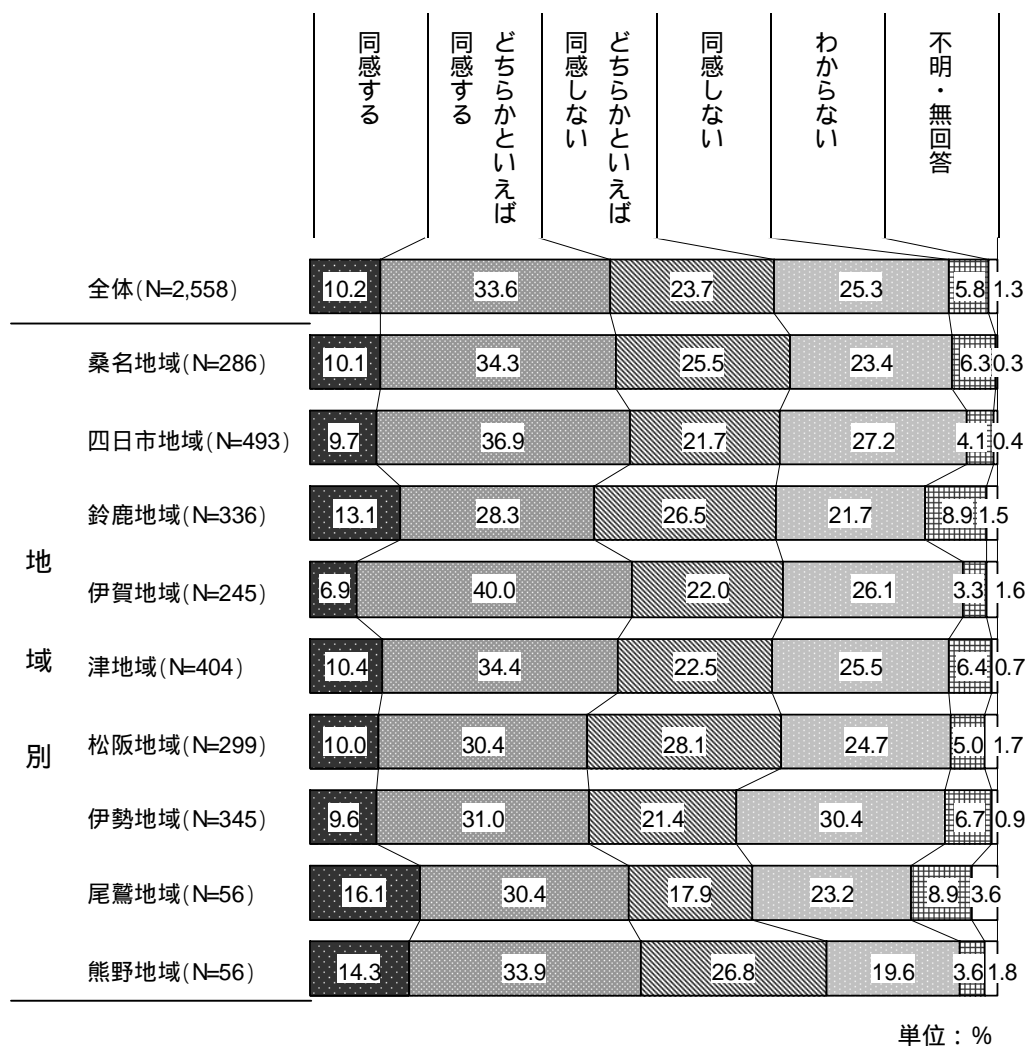
問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方について 【性別・年代別】



性別・年代別でみると、『同意する』と答えた人の割合は、男性の70歳以上（63.8%）が最も高く、次いで女性の70歳以上（57.4%）が続いています。

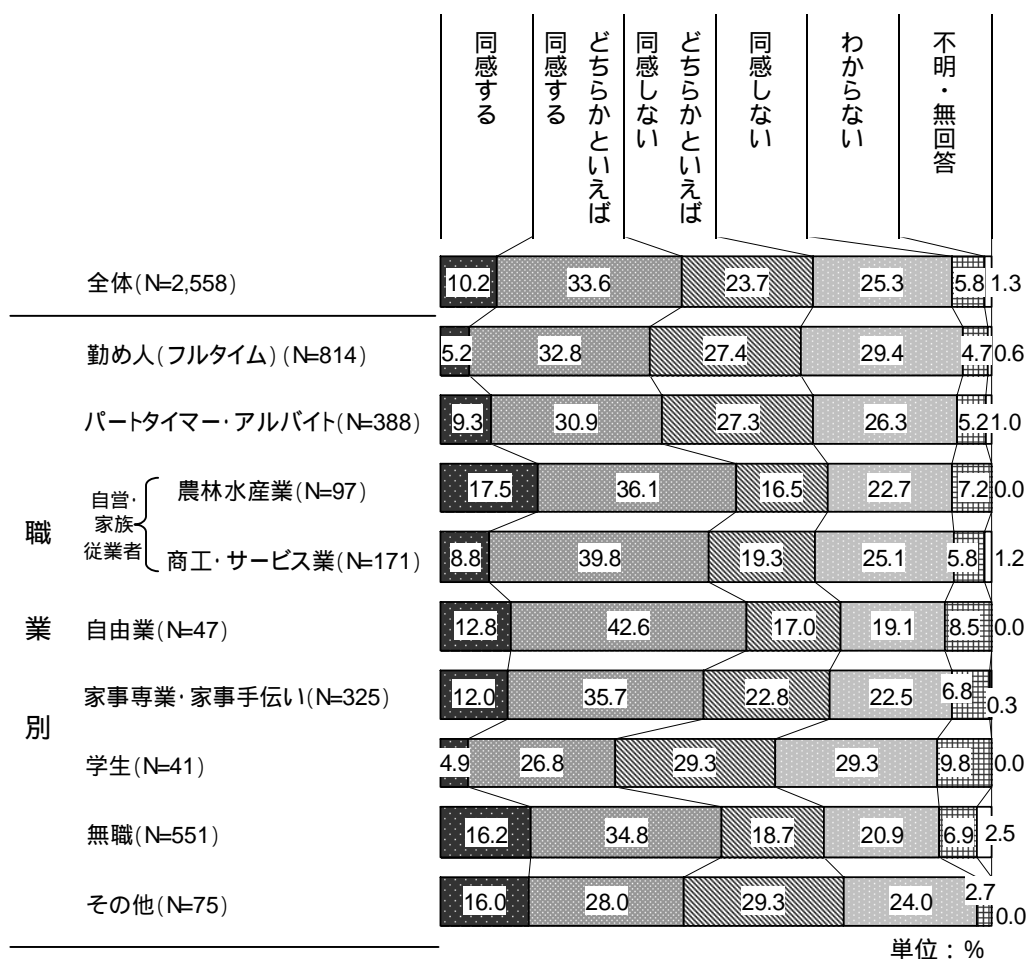
『同意しない』と答えた人の割合は、女性の40歳代（64.8%）が6割を超え、高くなっています。

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方について 【地域別】



地域別で見ると、『同意しない』と答えた人の割合は、松阪地域(52.8%)が最も高い結果となっています。

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方について 【職業別】



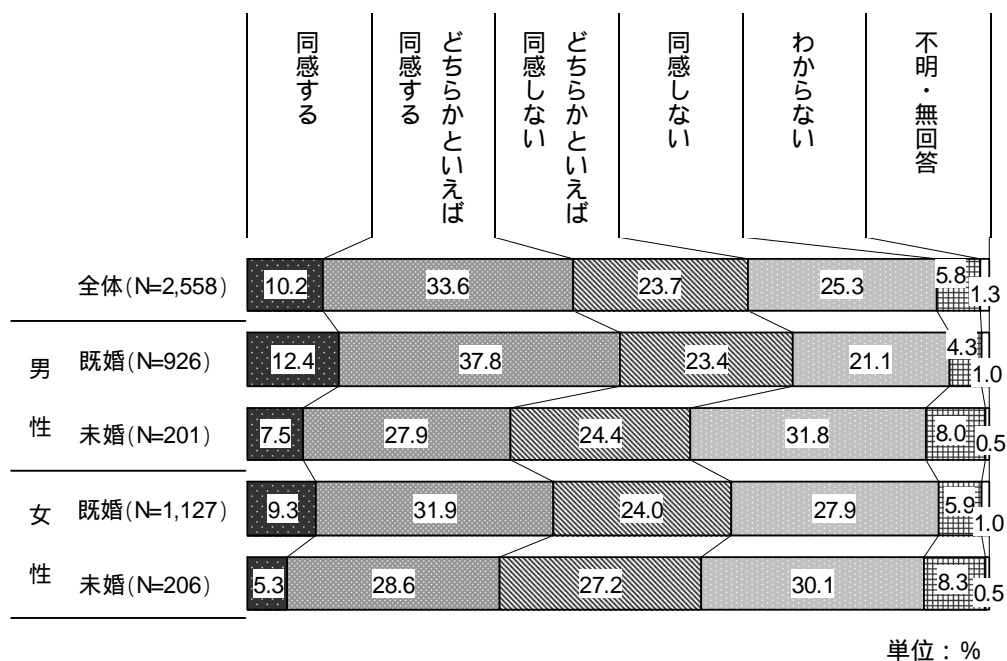
職業別でみると、『同意する』と答えた人の割合は、無職(51.0%)が最も高く、次いで、商工・サービス業(48.6%)となっています。

『同感しない』と答えた人の割合は、勤め人(56.8%)、パートタイマー・アルバイト(53.6%)が5割以上と高くなっています。

自由業、学生、その他は件数が少ないため、分析対象から除いています。

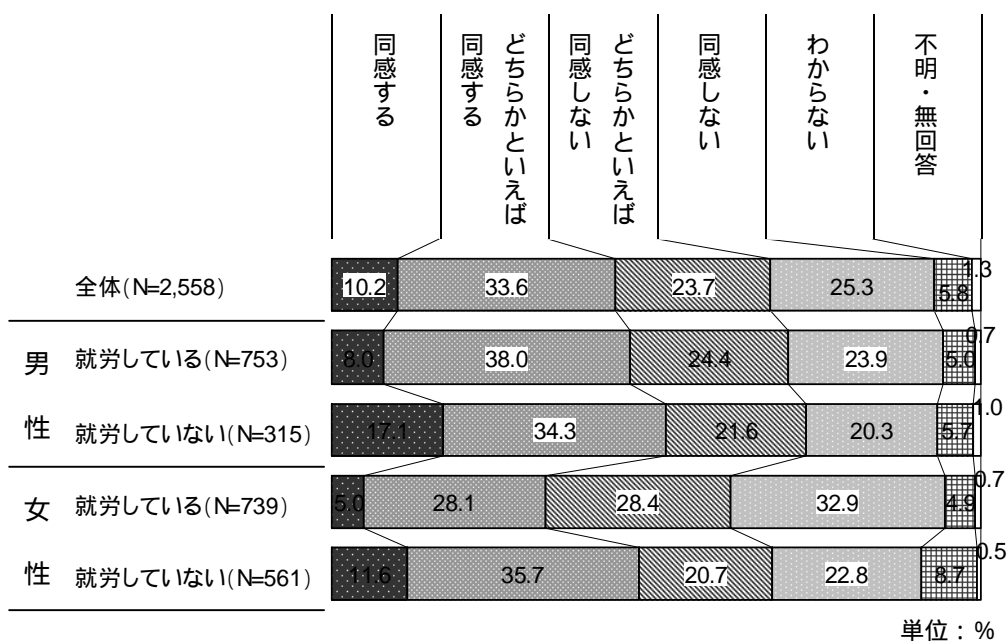


問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方について 【性別・婚姻状況別】



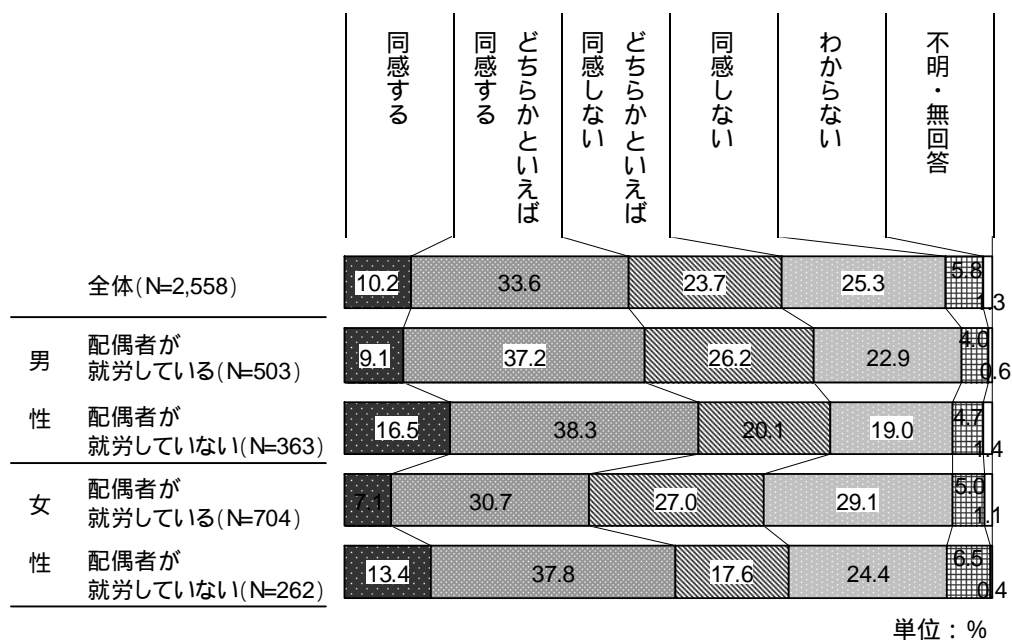
性・婚姻状況別でみると、『同意する』と答えた人の割合は、男性の既婚者（50.2%）が最も高く、『同意しない』と答えた人の割合は、女性の未婚者（57.3%）が最も高い結果となっています。

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方について【性別・就労状況別】



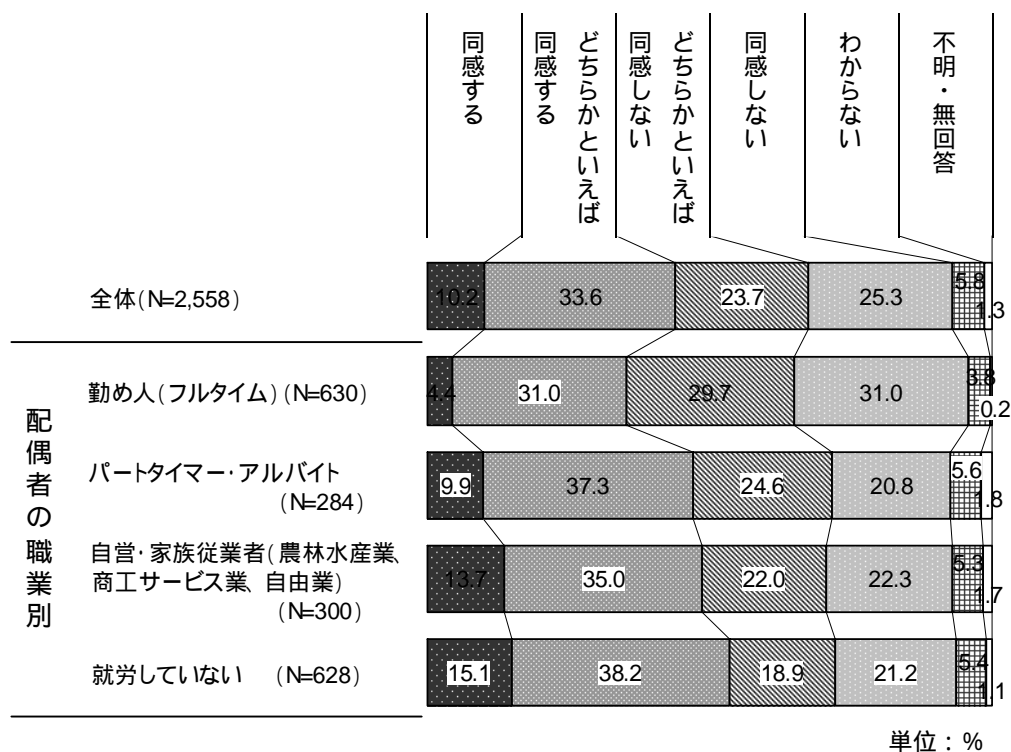
性・就労状況別でみると、『同意する』と答えた人の割合は、男性の就労していない（51.4%）が最も高く、『同意しない』と答えた人の割合は、女性の就労している（61.3%）が最も高い結果となっています。

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方について 【性別・配偶者の就労状況別】



性別・配偶者の就労状況別でみると、『同意する』と答えた人の割合は、男性の配偶者が就労していない(54.8%)が最も高く、『同意しない』と答えた人の割合は、女性の配偶者が就労している(56.1%)が最も高い結果となっています。

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方について 【配偶者の職業別】



配偶者の職業別でみると、『同意する』と答えた人の割合は、配偶者が就労していない(53.3%)が最も高く、『同意しない』と答えた人の割合は、配偶者が勤め人(フルタイム)(60.7%)が最も高い結果となっています。